

SAMSUNG TECHWIN

***NET-i* ware V1.41**

ユーザーガイド

SNS-SF064/SNS-SF032/SNS-SF016



**SAMSUNGネットワーク録画
サーバーソフトウェア**

このプログラムのインストール前または使用中に、SamsungのWebサイトwww.samsungsecurity.comから、入手可能な最新のS/Wバージョンをダウンロードしてアップグレードしてください。



始める前に	3	このマニュアルの目的
	3	対象読者
3	3	このマニュアルの構成
	3	用語集
	4	NET-i ware とは
	6	NET-i ware のインストール
設定	10	各コントロールの名称と機能
10	11	はじめに
	12	ハードウェア
	20	録画設定
	27	イベントの設定
	29	イベントのアラート音
	29	イベントプリセット
	30	バックアップ設定
	31	ネットワーク設定
	33	システム設定
バックアップ	39	データのバックアップをとるには
39		
SERVICE MANAGER	41	Service Manager の使用方法
41		
NET-I WARE のアップデート	42	インストール
	43	自動アップデートの設定
42	44	自動アップデートシナリオ
NET-I WEB VIEWER	45	Web Viewer とは
45	45	Web Viewer の概要
	46	Silverlight のインストール
	47	Web Viewer の接続ステータスの確認
	49	Live Viewer
	56	映像画面の概要
	58	Search Viewer
	62	ビューアの設定
	69	バージョン情報
	69	Open Source Announcement

始める前に

このマニュアルの目的

NET-i wareの使用方法について説明します。

NET-i wareの設定方法とNET-i ware Toolの使用方法について説明します。

対象読者

このユーザーガイドは、NET-i wareシステムのインストール、設定、管理を行うエンジニア向けに作成されています。
- NET-i wareをインストールするユーザーには、Windowsのアプリケーションおよびサービスに対する十分な知識と経験が必要です。

このマニュアルの構成

インストール

NET-i wareコンポーネントのプログラムをインストールする手順を説明します。

設定

NET-i wareのサービスと関連設定を行う方法について説明します。

バックアップ

手動バックアップについて説明します。

Service Manager

NET-i wareサービスの管理方法について説明します。

NET-i wareのアップデート

NET-i wareを最新バージョンにアップデートする手順について説明します。

用語集

- ツリー：デバイス、カメラ、アラーム、およびユーザー（グループ）の情報や、相関関係を参照できる領域です。
- デバイス：これは、ネットワークカメラおよびエンコーダーの総称です。
- fps (frames per second)：1秒間のフレーム数。
- 4CIF：解像度 [704x480(NTSC), 704x576(PAL)]
- VGA：解像度 [640x480]
- CIF：解像度 [320x240(NTSC), 352x288(PAL)]
- QXGA：解像度 [2048x1536]
- UXGA：解像度 [1600x1200]
- 1080P(Full HD)：解像度 [1920x1080]
- 720P (HD)：解像度 [1280x720]
- SXGA：解像度 [1280x1024]
- XGA(XVGA)：解像度 [1024x768]
- SVGA：解像度 [800x600]
- QVGA：解像度 [320x180]

始める前に

NET-i ware とは

NET-i ware は、セキュリティや自動監視環境のためのオープンストレージソリューションです。
このプログラムには、サイトの監視およびデバイスの画像保存に関する標準的な機能が搭載されています。
このプログラムは、ネットワーク環境を通じて、ネットワークカメラに組み込まれます。
また、同時にビデオ録画を設定することができます。

■ NET-i Web ViewerおよびNET-i Viewerを使用すると、リモートから録画データを検索および再生できます。

NET-i ware の特徴

NET-i ware には、次の特長があります。

- 同時に最大64チャンネルまで録画することができます
最大64チャンネルまでを手動またはスケジュール録画することができます
- SNS-SF064: 最大64チャンネル/ SNS-SF032: 最大32チャンネル/ SNS-SF016: 最大16チャンネル
 - ONVIF モデル登録は、SNS-SF064 及び SNS-SF032 のみに可能です。
- システムおよびイベントログを保存および検索することができます
- さまざまなフォーマットの映像ソースを再生することができます
H.264 / MPEG4 / MJPEG
- さまざまなフォーマットの音声ソースを再生することができます
G.726、G.711、G.723
 - ONVIF モデルは、G.711 のみをサポートしています。
- バックアップ
REC1/SECフォーマットがサポートされています
- 自動アップデート
- 高度な検索（NET-i viewerおよびWeb Viewerの使用）
日付/時間、およびイベント検索
- 豊富な再生制御オプション（NET-i viewerおよびWeb Viewerの使用）
最大64倍の順方向/逆方向再生

NET-i ware のプログラム

製品パッケージにNET-i wareシステムのすべてのアプリケーションが同梱されており、システム要件を満たしていることを確認してください。

NET-i ware Tool

NET-i wareおよびリモートデバイスの設定を構成することができます。

言語設定

デバイスの登録/変更/削除

録画スケジュールの作成/編集/削除

イベント設定

バックアップスケジュールの作成/編集/削除

手動バックアップ

ネットワーク設定

ユーザーの作成/編集/削除

ログの設定および検索

デバイスファームウェアのアップデート

NET-i wareのリセットおよびインポート/エクスポート

その他

Service Manager

NET-i wareサービスの開始/終了
プロダクトキーの追加/削除

Updater

アップデートを自動で行うことができます。

アップデートを手動で行うことができます。

システム要件

以下の仕様は、NET-i wareシステムをインストールして単独で動作させるために必要な最小ハードウェア要件およびOS要件です。

CPU	Intel Core i3 (推奨: Intel Core i7 Sandy Bridge)
OS	Windows XP Professional SP2, Windows Server 2003 SP2, Windows Vista Business / Ultimate, Windows Server 2008, Windows 7, Windows 8
DRAM	4GB 以上
HDD SATA2	2個以上 (OS用およびデータストレージHDD用) - NET-i wareのインストールには、最低 1GB のディスク空き容量が必要です。
VGAカード	32MB、Direct X 8.1、32ビットカラー、解像度1024 x 768以上 (推奨: 64MBまたはそれ以上、DirectX 8.1以降、32ビットカラー、解像度1280 x 1024以上)
ネットワーク	ギガビットイーサネットNIC
DVDリーダー/ライター	NET-i wareのインストールおよびデータのバックアップ用



- 停電または電源に問題が発生すると、NET-i ware が正常に動作しない場合があります。
このため、無停電電源装置 (UPS) をご使用になることをお勧めします。
- PC の CMOS 設定で「AC 電源障害時の回復」の項目を設定している場合、停電後システムは自動的に再起動されます。ご使用の PC でこの機能がサポートされているか確認してください。

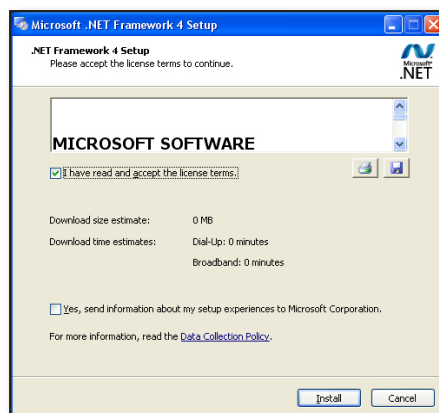
始める前に

NET-I WARE のインストール

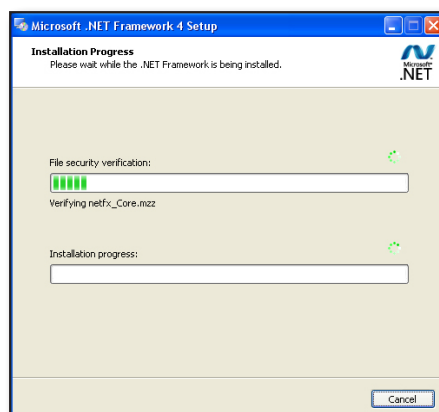
NET-i ware プログラムのインストール

1. 同梱されている dongle キーをご使用のコンピュータの該当ポートに挿入します。
 - プログラムのインストール中は dongle キーを抜かないでください。途中で抜いてしまうと、インストールプログラムを開始できない場合があります。
2. NET-i ware インストール DVD か、またはご使用の PC のインストールフォルダに入っている SETUP.EXE ファイルを実行します。
3. ご使用の PC に .NET Framework 4.0 がインストールされていない場合は、最初に .NET Framework 4.0 をインストールします。
 - ご使用の PC に .NET Framework 4.0 がインストールされていないと、NET-i ware は正常に動作しません。
 - .NET Framework は、Microsoft ダウンロード センターからダウンロードおよびインストールすることができます。

- ① .NET Framework のクライアント プロファイル ウィンドウで、**[I have read and accept the license terms.]** をクリックします。

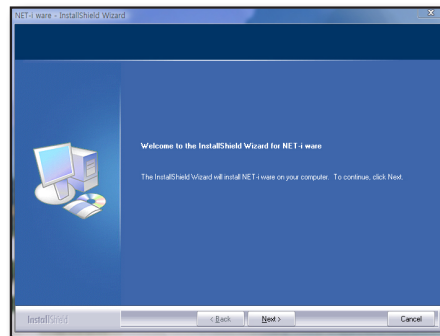


- ② ステータスバーにインストールの進行状況が表示されます。
 - .NET Framework 4.0 のインストール完了後、PC 環境によってはシステムを再起動する必要があります。

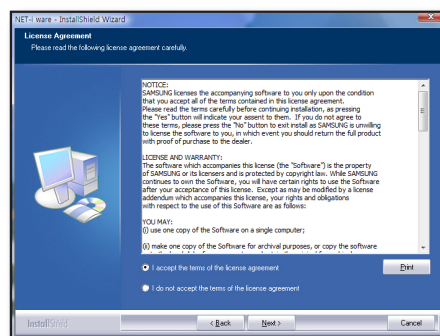


4. ご使用の PC に dongle キーのドライバがインストールされていない場合は、最初に HASP SRM ランタイムをインストールします。
 - HASP SRM ランタイムがインストールされていないと、NET-i ware は正常に動作しません。
 - HASP SRM ランタイムは、Aladdin.com からダウンロードおよびインストールすることができます。
 - ① HASP SRM ランタイム設定ウィンドウで、**[Next >]** をクリックします。
 - ② インストール中は、インストールステータスバーに進行状況が表示されます。

5. [Next>]をクリックすると、ライセンス使用許諾契約の画面に移動します。



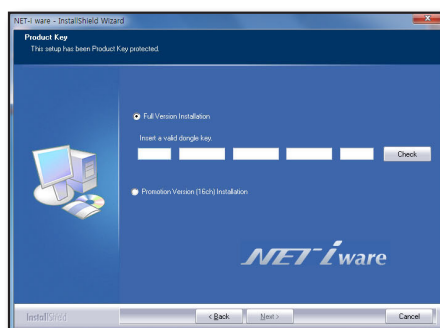
6. ライセンス使用許諾契約をよく読み、“I accept the terms of the license agreement.”を選択します。[Next >]をクリックして、次の手順に進みます。



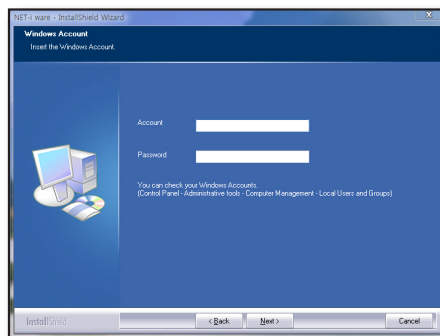
7. NET-i wareを有効にするには、プロダクト・キー（26文字）を入力して[Check]をクリックします。
- プロダクトキーは、DVDケースの表面に記載されています。



- チャンネルが多いモデルを、チャンネル数が少ない別のモデルと交換すると、設定と録画データの一部が失われます。
- ドングルキーなしで NET-i ware 16CH モデルに接続する場合、“Promotion Version (16ch) Installation” のインストールを選択します。

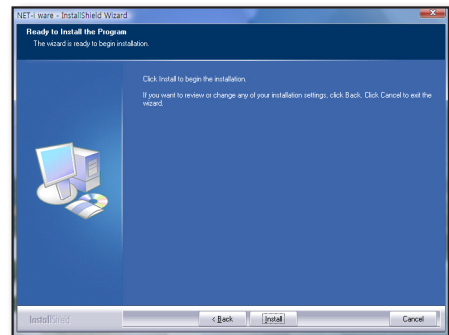


8. Windowsのログオンアカウント情報を入力して、[Next >]をクリックします。
- Windowsのログオンアカウントは、ご使用のPCのWindows OSにログインするために必要な情報です。
Windowsのログオンアカウントは、コントロールパネルから確認することができます。
- 管理ツール → コンピュータの管理 → ローカルユーザーとグループで確認してください。
- Windowsのログオンアカウント情報は、インストール後に NET-i ware Toolで編集することもできます。（35ページ）

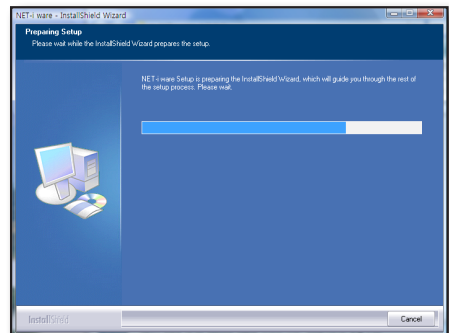


始める前に

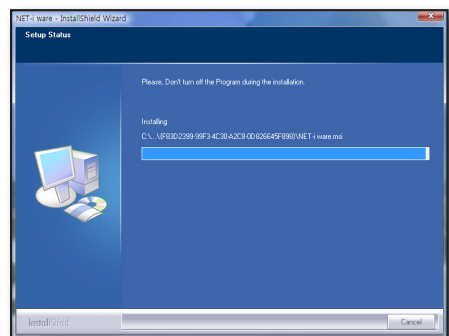
9. **[Install]**をクリックすると、プログラムのインストールが始まります。



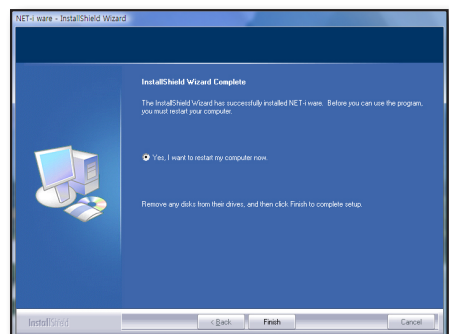
10. NET-i wareプログラムをインストールするウィザードが開きます。



11. ウィザードによって、NET-i wareプログラムが開始されます。



12. インストール完了後、**[Finish]**をクリックしてインストールを終了します。
- 終了後、PCを再起動してください。



インストールの確認

ご使用のシステムにNET-i wareが正しくインストールされていることを確認します。

1. 開始メニューに移動します。
2. NET-i wareが正しくインストールされていると、NET-i wareプログラムメニューに次の3つのサブコンポーネントが表示されます。NET-i ware Tool、Service Manager、Uninstall。



- NET-i ware の初回実行時には、NET-i ware の言語は OS の言語に初期設定されています。



設定

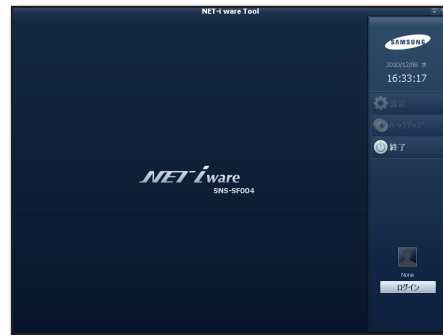
ツリーやシステム関連のオプションを設定できるNET-i ware Toolの使用方法について説明します。
NET-i ware Toolを使用してNET-i wareを設定することができます。
デバイス設定ページでは、デバイスの設定を行うことができます。

各コントロールの名称と機能

カテゴリ	項目		説明
メインメニュー	設定		設定ページが表示されます。
	バックアップ		手動バックアップページが表示されます。
	終了		NET-i ware Toolを終了します。
	ログイン		ログインダイアログが表示されます。
	ログアウト		ログアウトダイアログが表示されます。
設定メニュー	ハードウェア	登録	登録デバイスを表示し、サーバー、デバイス、またはカメラページの情報を変更することができます。
		有効化	使用するカメラを有効化できるページが表示されます。
		カメラ	ビデオ、音声、コバート、および録音などのオン/オフなど、カメラの設定を表示します。
		映像	ライブおよび録画ソース用にビデオプロパティのページを開きます。
	録画	NET-i ware	各カメラや基本録画設定ごとのHDD情報、ディスク容量の上限を確認することができます。
		スケジュール	休日を含めたスケジュールを作成/編集/削除して、スケジュールにカメラを割り当てるすることができます。
		イベント	カメラおよびイベントのプレ/ポスト録画時間を設定することができます。
		カメラ	カメラごとの録画のFPSおよび録画ファイルの保管期間が表示されます。
	イベント	カメラ	カメラごとのリンクにイベント破棄時間およびアラームを設定することができます。
		電子メール	電子メールの作成/編集/削除、および電子メールの通知間隔の設定を行うことができます。
		アラート音	イベントごとにアラート音を設定することができます。
		プリセット	適用可能なアラーム入力のパreset設定ページを表示します。
	バックアップ	スケジュール	スケジュールバックアップインスタンスの作成/編集/削除を行うことができます。
		ネットワークドライブ	ネットワーク接続の再実行回数の指定およびバックアップファイルの自動削除の設定を行うページを表示します。
	ネットワーク	インタフェース	ネットワーク設定と転送設定のページを表示します。
		DDNS	DDNS設定ページが表示されます。
	システム	ユーザー	ユーザーアカウントの作成/編集/削除を行うことができます。
		設定	次の設定を行うことができます。言語、時刻/日付、Windowsのログオン情報、上書きオプション、IPフィルタ、リセット、同期更新、インポート/エクスポートプロファイル。
		ログ	ログストレージオプションを設定したり、検索結果を参照することができます。

はじめに

デスクトップ上で<  >アイコンをダブルクリックします。
NET-i ware Toolのメインページが表示されます。

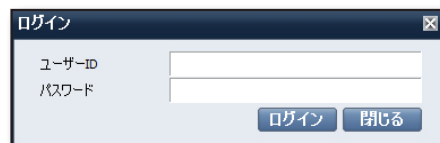


ログイン/ログアウト

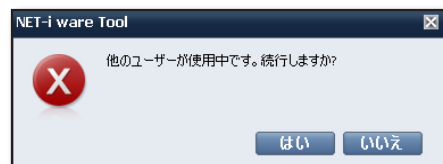
❖ ログイン

設定ページを使用する場合は、あらかじめログインしておく必要があります。

1. 設定メインページで、[ログイン]をクリックします。
ログインダイアログが表示されます。
2. IDとパスワードを入力します。
 - デフォルトID: admin
 - パスワード: 4321



-  ■ 以下の場合、ログインすることはできません。
- 未登録のユーザーIDを入力した場合
 - パスワードが間違っている場合
 - 一度に設定を行うことができるのは1人のユーザーのみです。
別のユーザーがすでにWeb viewerにアクセスしている場合、
現在の接続を切断し、Web viewerに強制的にアクセスすることができません。
 - Web viewerに強制的にログインすると、NET-i ware Toolにログインしているユーザーは自動的にログアウトされます。



-  ■ デフォルトのパスワードは、ハッキングスレッドにさらされる恐れがあるため、製品インストール後に変更することをお勧めします。
パスワードを変更しなかったことにより、セキュリティ関連の問題が起こった場合は、ユーザーの責任となります。

❖ ログアウト

設定完了後、ログアウトします。

1. 設定メインページで、[ログアウト]をクリックします。
ログアウトダイアログが表示されます。
2. ダイアログで[OK]をクリックします。
ログアウトします。

-  ■ 以下のような場合、自動的にログアウトされます。
- プログラム終了
 - ユーザー入力6時間無し



設定

ハードウェア

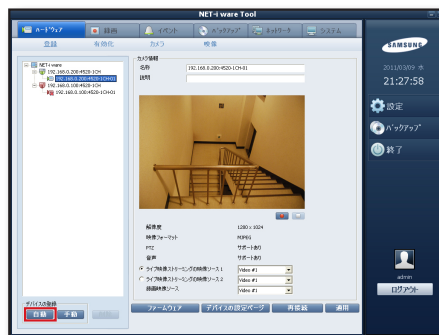
ハードウェアの登録

❖ デバイスの登録

指定するデバイスをNET-i wareに追加または変更したり、NET-i wareから削除することができます。

デバイスの登録上の条件は次のとおりです。

- ① デバイスは64台まで登録できます。
 - SNS-SF064 : 最大 64 / SNS-SF032 : 最大 32 / SNS-SF016 : 最大 16
- ② ネットワークに接続されているデバイスのみ登録できます。



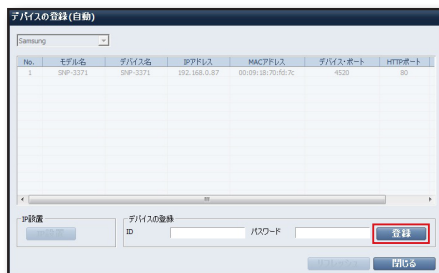
デバイスの自動登録

メインウィンドウの左下隅にある[自動]ボタンを押すと、デバイスを自動的に登録することができます。

1. [自動]をクリックして、デバイスを自動登録します。
ローカルネットワークに接続されているすべてのデバイスの一覧が「デバイスの登録(自動)」ウィンドウに表示されます。
登録済みのデバイスは、灰色で表示されます。



- ウィルス対策プログラムのファイアウォール設定によっては、自動デバイススキャン機能が動作しないことがあります。自動デバイススキャンを実行する場合は、あらかじめファイアウォールを無効にしておいてください。
- リストの一番上のプロトコル選択フィールドで ONMF カメラを検索して登録できます。



2. 一覧の中にある特定のデバイスは、一覧からデバイスをクリックするだけで登録できます。
3. デバイスIDとパスワードを入力し、[登録]をクリックします。
デバイス情報には、デバイスに指定したIDとパスワードが含まれます。

- IP設定: デバイスのネットワークアドレスを変更することができます。
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、HTTPポート、デバイスポートおよびパスワードを入力して、[OK]をクリックします。



- デバイスモデルによっては、デバイスのIPを設定できない場合があります。



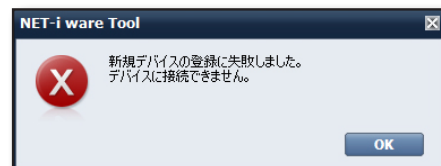
- リフレッシュ: ローカルネットワークに接続されているデバイスの一覧をリロードします。
- 閉じる: デバイスの登録ウィンドウを閉じます。

4. 問題が発生すると、エラーに対応するメッセージが表示されます。
登録されたデバイスがツリーに一覧表示されます。
 - エラーの詳細については、「エラーの種類」を参照してください。(13ページ)

デバイスの手動登録

メインウィンドウの左下隅にある[手動]ボタンを押すと、デバイスを手動で登録することができます。

1. [手動]をクリックすると、「デバイスの登録(手動)」ウィンドウが表示されます。
2. モデルを選択します。
 - ONVIFモデルを選択し、ONVIFカメラを登録します。
3. アドレスタイプを選択します。
 - 使用可能なアドレスタイプ: IPアドレス、URL、websamsung.net、samsungipolis.com
4. デバイスへの接続に必要な情報を入力します。
 - メーカー名、モデル名、アドレスタイプにそれぞれの情報を入力してください。
5. IDとパスワードを入力します。
 - デバイス情報には、デバイスに指定したIDとパスワードが含まれます。
6. [登録]をクリックします。
 - 登録が完了すると、デバイスがツリーに追加されます。
 - 登録に失敗した場合は、原因を示すエラーメッセージが表示されます（登録エラーメッセージを参照）。
 - 例) デバイスへの接続に失敗した場合、次のようなエラーメッセージが表示されます。



エラーの種類

登録時に問題が発生すると、次のいずれかのエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージ	説明	アクション
パラメータエラー	登録パラメータが無効です。	入力した情報を確認してください。
デバイス接続エラー	デバイスが接続されていません。	デバイスがネットワークに正しく接続されているかどうかを確認してください。
ネットワーク・エラー	ネットワーク接続に失敗しました。	デバイスがネットワークに正しく接続されているかどうかを確認してください。
重複アドレスエラー	アドレスどうしがお互いに一致しません。	デバイスのMACアドレスをもう一度確認してください。
ログインIDエラー	ログインIDが無効です。	入力したログインIDを確認してください。
ログインパスワードエラー	ログインパスワードが無効です。	入力したログインパスワードを確認してください。
ログイン衝突エラー	ログインIDが範囲外です。 例) 同時接続のできないIDでログインしようとしています。	同時にログイン可能なデバイス数を確認してください。
最大数を超えました	登録可能なデバイスの最大数を超えました。	登録したデバイス数を確認してください。
不明のエラー	不明なエラーが発生しました。	NET-i ware Serviceを再起動してください。

設定

ONVIFモデルをAXISカメラに接続できなかった場合

カメラのウェブページを開き、次の設定を確認してください。

1. 設定ページで、システムオプション > 上級設定 > 簡易設定 > WebService groupを選択し[サービスを有効にする]が選択されているかどうかを確認します。
2. NET-iware がインストールされたパソコンとカメラ間の時間差が5分以上ある場合は、接続が失敗することがあります。

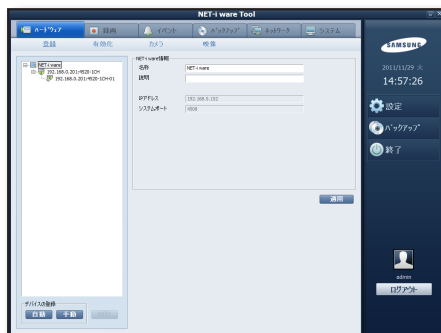
❖ ツリービュー

ツリーには、サーバー、登録されているデバイス、カメラの一覧がカスケード表示されます。

サーバー、デバイスおよびカメラの接続ステータスがアイコンで表示されます。

サーバーおよびデバイスのステータスは、アイコンの色で確認することができます。

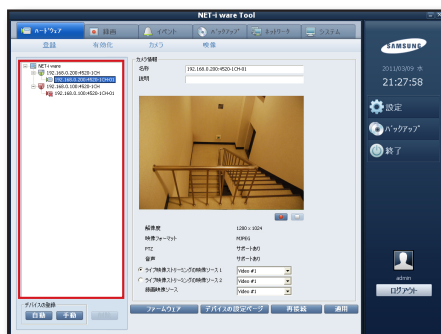
-  : 接続されました
-  : 接続されていません



❖ カメラステータスの確認

カメラの接続には、6つの状態があります。

-  : 接続 + 有効 + スケジュール録画
 -  : 接続 + 有効 + 手動録画
 -  : 接続 + 有効 + スケジュール&手動録画
 -  : 接続 + 有効
 -  : 未接続 + 有効
 -  : 未接続 + 無効
- +/-ボタンを使用して、サブメニューの表示、非表示を切り替えることができます。

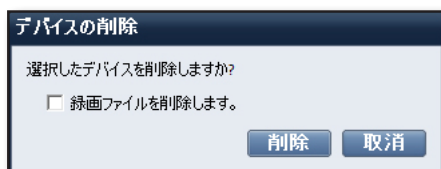


❖ デバイスを削除するには

デバイスを選択して削除することができます。

1) デバイスを削除するには

- ① ツリーからデバイスを選択し、**[削除]**をクリックします。
 - ② デバイスの削除ダイアログで、削除する録画ファイルを決定し、**[削除]**をクリックします。
-  ■ 録画データの削除オプションにチェックを入れると、そのデバイスの録画データを削除することができます。



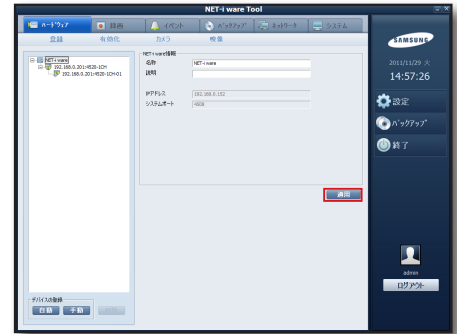
2) 削除した結果

- ツリー内のデバイスまたはカメラが削除されます。
- 削除対象のカメラが録画中または再生中の場合、削除は停止されます。

❖ サーバー情報を表示するには

サーバー名や説明を変更したり、アドレスおよびポート番号を確認することができます。

1. ツリーで、サーバーアイコン<🖨️>をクリックします。
サーバー名および説明を変更します。
2. 変更内容を保存するには、[適用]をクリックします。

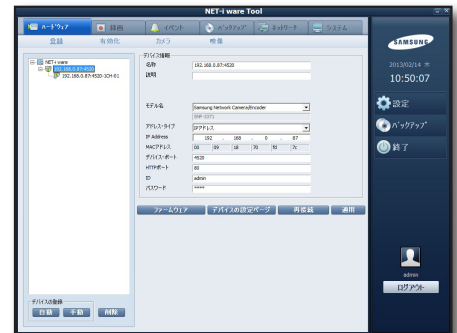


❖ デバイス情報を表示するには

デバイス情報を変更したり、接続を要求することができます。

- カメラを有効にする方法については、18ページを参照してください。

1. ツリーで、デバイスアイコン<🖥️>をクリックします。
2. 情報を変更する、または接続を要求します。



デバイス情報を変更するには

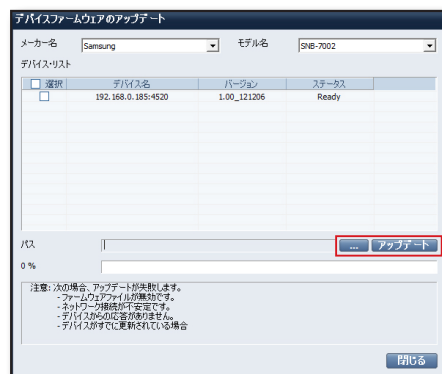
1. 名前、説明、またはプロパティを変更します。
 - デバイス情報には、デバイスに指定したIDとパスワードが含まれます。
 - 故障したデバイスを取り替えることができます。
 - ネットワークに取り替えたデバイスを接続し、取り替えたデバイスでプロパティ（アドレスタイプやIPなど）を編集します。
 - モデル名やMACアドレスは、デバイスが接続されている間は修正できません。
2. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。
3. プロパティを変更したデバイスへの接続に失敗した場合は、プロパティウィンドウが開き、以前の設定を復元することができます。

設定

❖ ファームウェアをアップデートするには

デバイスファームウェアをリモートでアップデートすることができます。

1. [ファームウェアのアップデート]をクリックします。
2. アップデートするメーカー名とモデル名を選択します。
選択したデバイスが一覧表示されます。
3. チェックマークを付けてアップデートするデバイスを選択します。
4. [ファイルブラウザ (...)]をクリックしてファームウェアファイルを選択します。
5. [アップデート]をクリックして、選択したデバイスをアップデートします。ファームウェアをアップデートするデバイスが複数ある場合、アップデートは上から順に行われます。
6. アップデートが終了すると、ステータスバーに完了しましたというメッセージが表示されます。アップデート中は、他の機能は無効化されます。
 - ファームウェアのアップデートが失敗した場合、次のデバイスのアップデートが行われます。



❖ デバイス設定を表示するには

デバイス設定について、各デバイスの設定ページに移動できます。

- 詳細は、該当するデバイスのユーザーガイドを参照してください。
1. [デバイス設定ページ]をクリックします。
選択したデバイスの設定ページが表示されます。

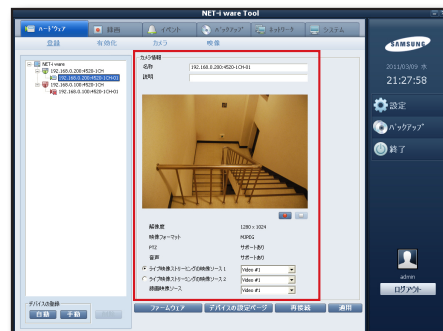


❖ カメラ情報を表示するには

カメラ情報を変更したり、ライブ映像を表示することができます。

- 情報の変更やライブ映像の表示は、カメラが有効化されている場合にのみ可能です。
- カメラの解像度、映像フォーマット、PTZ、および音声の許可を確認することができます。

1. デバイス一覧で、カメラアイコン<📷>をクリックします。
2. 接続されているカメラの情報を変更したり、ライブ映像を再生します。



カメラ情報を変更するには

1. 名前、説明、または映像ソースを変更します。
 - カメラが複数の映像ソースをサポートしている場合、1つをライブ再生1、2用に、1つを録画用に選択できます。
2. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。

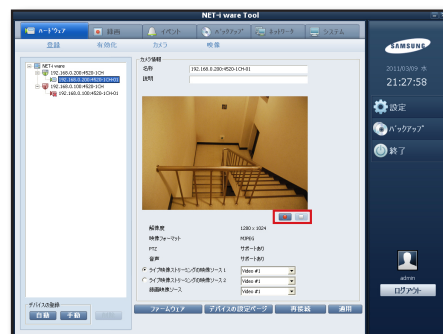


- ライブソース1と2について異なるソース（映像プロファイル）を設定することをお勧めします。

ライブ映像を再生するには

ライブ映像を再生し、手動録画を開始/停止できます。

1. 手動録画を開始するには、画面の下部の<📹>をクリックします。
 - 最小録画時間は30分で、録画を開始してから30分経過していない録画を停止することはできません。
 - 手動録画を開始する前に、カメラをディスクに割り当てる必要があります。
詳細は、“カメラを各ディスクに割り当てるには”を参照してください。（21ページ）
2. 手動録画を停止するには、<📹>をクリックします。
 - 接続が終了すると、手動録画は停止されます。



- カメラでビデオ損失イベントを受信した場合は、手動録画開始ボタンを押しても録画は開始されません。

設定

有効化

❖ カメラを有効にするには

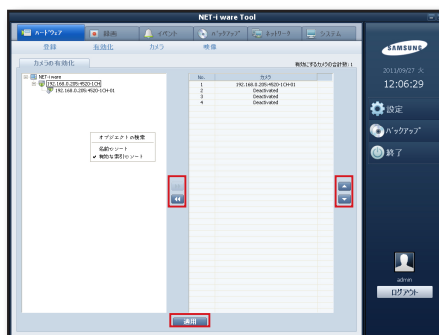
カメラを使用するには、カメラを登録後有効化する必要があります。

- 最大64台のカメラを有効化することができます。
 - SNS-SF064: 最大64台のカメラ / SNS-SF032: 最大32台のカメラ / SNS-SF016: 最大16台のカメラ



- 操作上からマルチチャンネルデバイスを登録しても、必ずしもすべてのデバイスが使用可能にはなりません。
例) モデル SNS-SF032 に 1 台の 4 チャンネルエンコーダーと 31 台のネットワークカメラを登録する場合、登録チャンネルの合計は 35 になります。この場合、使用可能になる有効なチャンネルの最大数は 32 であるため、残りの 3 台は無効になります。

1. 左側ペインのカメラリストからカメラを選択し、<▶▶>をクリックします。
選択したカメラが右側のリストに移動します。
2. カメラの索引を変更するには、カメラを選択し、<◀▶>ボタンを使用して索引を変更します。
 - 変更した索引は、NET-iビューワのカメラリストの順序と同じ順序になります。
3. 有効なカメラを無効にするには、右側のリストでカメラを選択し、<◀◀>をクリックします。
選択したカメラが左側のリストに移動します。
4. 左ペインのカメラリストをソートしたりその詳細を検索するには、空いているエリアを右クリックして、次のいずれかを選択します。
 - オブジェクトの検索
デバイスまたはカメラの名前を入力し、目的の設定ファイルを検索します。
 - 名前でソート / 有効な索引でソート
名前（昇順）または索引別にデバイスまたはカメラの設定ファイルをソートできます。
5. 作業内容を保存するには、[適用]をクリックします。
 - カメラを有効にすると、そのカメラは自動的にネットワークに接続されます。
 - カメラを無効にすると、そのカメラは自動的にネットワークから切断されます。



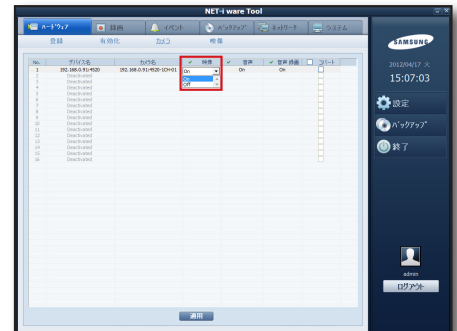
カメラ

ビデオ、音声、録音およびコバート機能のオン/オフを切り替えることができます。

❖ 映像

1. 設定を変更するカメラの映像項目を選択します。
2. OnまたはOffを選択します。

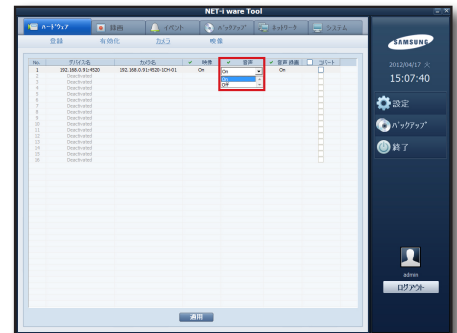
-  ■ 映像機能をオフに設定した場合、ライブ映像を再生および録画することはできません。
映像機能をオフに設定すると、音声機能もオフになります。



❖ 音声

1. 設定を変更するカメラの音声項目を選択します。
2. OnまたはOffを選択します。

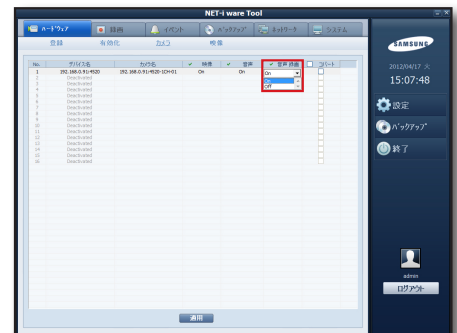
-  ■ 音声機能をオフに設定した場合、ライブ音声を再生したり、音声を録音することはできません。



❖ 音声録画

1. 目的のカメラの音声録画をクリックします。
2. OnまたはOffのいずれかを選択します。

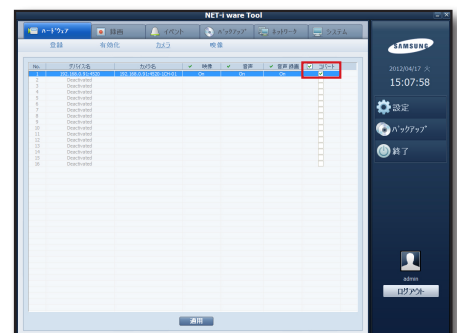
-  ■ カメラの音声録画を Off に設定すると、音声は録音されません。



❖ コバート

1. 設定を変更するカメラのコバート項目を選択します。
2. 項目にチェックマークを付けます。
コバート機能がオンに設定されます。

-  ■ コバート項目にチェックマークを付けた場合、ライブ映像または音声を再生することはできませんが、映像の録画または音声の録音は行うことができます。



設定

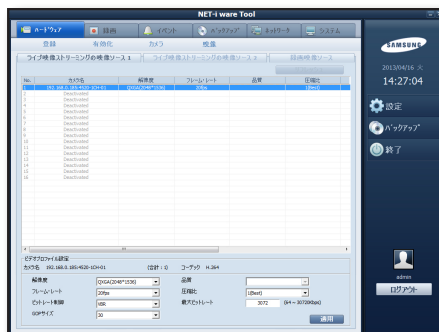
映像

有効なカメラごとにライブ1、2および録画映像プロパティを設定できます。

- カメラのプロパティで指定したライブ1、2および録画映像ソースの映像プロパティを設定します。
(カメラ情報の変更方法については、17ページを参照)
- ビデオプロパティには、解像度、品質、フレーム・レート、圧縮比、ビットレート制御、ターゲットビットレートおよびGOPサイズがあります。



- この機能がサポートされていないデバイスとつながっているカメラは、非アクティブ状態で表示されます。



録画設定

NET-i ware

❖ ディスクステータスを変更するには

HDD情報リストには、現在インストールされているHDDの情報が表示されます。ローカルディスクのステータスを割当済または解除済に変更できます。

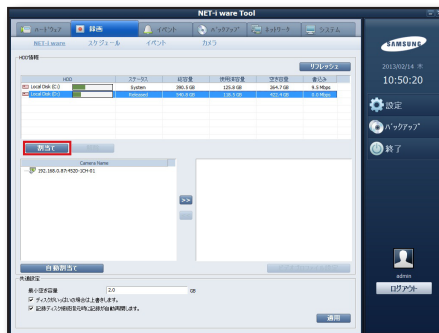
割当て

ローカルディスクが割り当てられている場合、ソースを録画/スキャン/再生することができます。

1. 割り当てられていないディスクを選択します。
[割当て]ボタンが有効になります。
2. [割当て]をクリックします。
割当てダイアログが表示されます。
3. [はい]をクリックして、ディスクのステータスを割当済に変更します。
ローカルディスクのアイコンが緑色になります。



- OSがインストールされているシステムディスクを割り当てることはできません。
- 録画するためのディスクがシステムディスクしかない場合は、録画を続行することはできません。



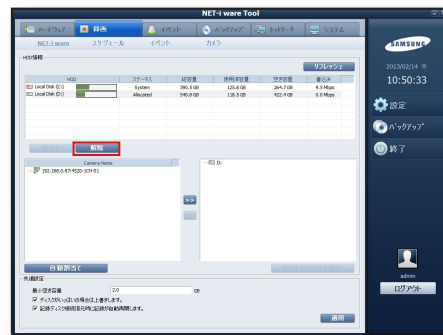
解除済

ローカルディスクが解除されていると、ソースのスキャン/再生はできますが、録画することはできません。

1. 現在割り当てられているディスクを選択します。
[解除]ボタンが有効になります。
2. [解除]をクリックします。
解除ダイアログが表示されます。
3. [はい]をクリックして、ディスクのステータスを解除済に変更します。
ローカルディスクのアイコンが赤色になります。



- ユーザーグループによって不正なカメラが割り当てられているディスクを解除することはできません。



リフレッシュ

ローカルディスクの情報を最新の情報に更新するには、[リフレッシュ]をクリックします。

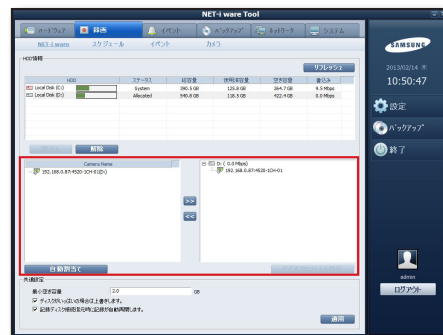
❖ カメラを各ディスクに割り当てるには

カメラを各ディスクに割り当てることができます。

1. 左側のリストで割り当てるカメラを選択します。
2. [>>]をクリックします。
選択したカメラが割り当てられたディスクの下にコピーされます。
1つのカメラから複数のディスクに配布できます。



- ディスクに割り当てられていないカメラのソースを録画することはできません。
- 自動分配機能により、各ディスクに対するカメラの分配設定がリセットされ、名前順に分配が実行されます。
- 録画中のディスクやカメラには、書き込まれた / 受信したデータ量が示されます。
- データの書き込み限度を超えた場合、データ量は赤で示されます。このような場合、カメラのデータを他のディスクへ配布するか、カメラのビデオ転送をより低い通信速度に設定します。



❖ 共通設定

最小空き容量

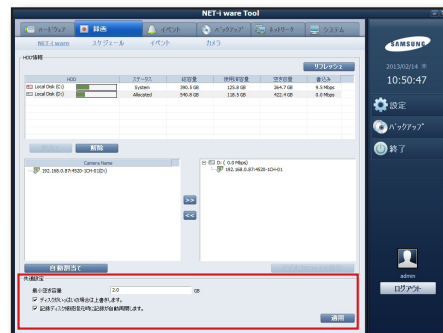
ディスクの最小空き容量を設定できます。
録画のための空き容量が最小値よりも大きい場合にのみ、録画を続行できます。

ディスクがいっぱいの場合は上書きします。

ディスクに空き容量がない場合は、既存の録画ファイルへの上書きが促されます。

ディスクが再接続された際に自動的に録画ファイルを回復します。

ネットワークの外部記憶装置 (iSCSI) に録画されている場合は、ストレージが切断されて、再接続された場合、録画が自動的に回復するかどうかを決定することができます。



設定

スケジュール

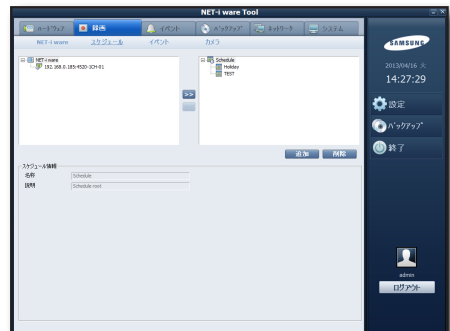
NET-i ware を使用してスケジュール録画を行うことができます。NET-i ware は、スケジュールに従って録画を開始または停止します。スケジュールを作成すると、そのスケジュールを複数のカメラに適用できます。複数のスケジュールを作成することもできます。

- 最大64台のカメラに対してスケジュールを作成できます。
 - SNS-SF064: 最大64チャンネル / SNS-SF032: 最大32チャンネル / SNS-SF016: 最大16チャンネル

次の3つの手順でスケジュール録画を開始することができます。

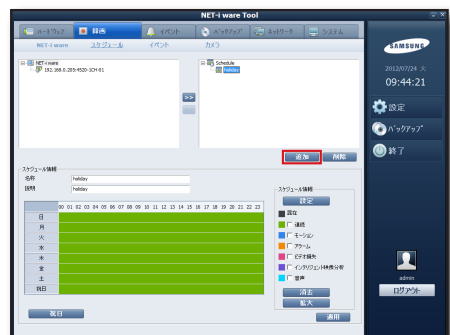
- 1) スケジュールを作成する
- 2) スケジュールの内容を設定する
- 3) スケジュール設定をカメラに適用する

同じスケジュールが適用されているカメラをリストで確認できます。



❖ スケジュールを作成するには

1. スケジュールツリーの下にある[追加]をクリックします。スケジュール追加ウィンドウが表示されます。
2. スケジュール追加ウィンドウに情報を入力し、[追加]をクリックします。デフォルトのスケジュールが右側のツリーに表示されます。
 - デフォルト: 連続録画

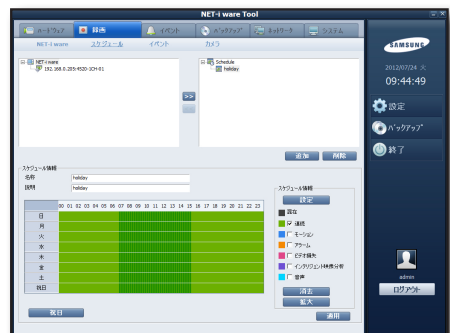


❖ スケジュールを編集するには

録画スケジュールは分単位で編集することができます。時間単位で、連続/モーション/アラーム/ビデオ損失/インテリジェント映像分析/音声の設定を指定できます。

編集するには

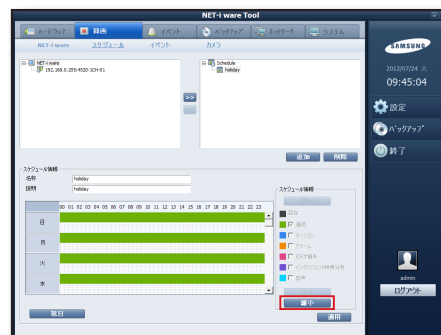
1. ツリーから編集するスケジュールのアイコンを選択します。
2. スケジュールの名称と説明を入力します。
3. スケジュール表で、カーソルを特定の位置にドラッグして、時間範囲を指定します。
4. 連続/モーション/アラーム/ビデオ損失/インテリジェント映像分析/音声から必要に応じて項目を選択し、[設定]をクリックします。
5. [削除]をクリックすると、選択した範囲の値を削除することができます。
6. [適用]をクリックします。変更が適用されます。



作業内容を確認するには

設定が完了すると、変更が適用されます。カメラは、設定に従って録画を開始または停止されます。

- [拡大]をクリックしてスケジュールツリーを展開すると、時間の範囲が重複する領域を確認できます。
[拡大]ボタンは[縮小]に切り替わります。その間、他のボタンはグレー表示されます。



- 表内のスケジュールした範囲をダブルクリックすると、分間隔で開始時刻と終了時刻を指定して、時間設定を微調整できるウィンドウが表示されます。
 - 最小の時間範囲は15分です。



❖ スケジュールを削除するには

スケジュールを削除することができます。

1. ツリーから削除するスケジュールを選択し、ツリーの下にある[削除]をクリックします。
録画中の現在のスケジュールも削除することができます。
2. 現在のスケジュールを削除すると、そのスケジュール設定が適用されているすべてのカメラの録画が停止されます。



- 不正なカメラが割り当てられているスケジュールを編集または削除することはできません。

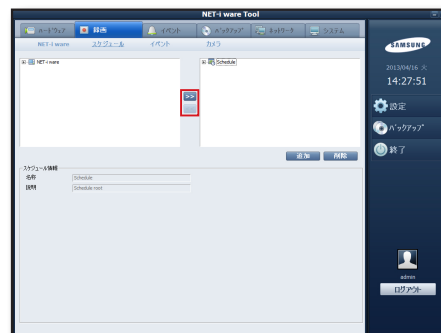
❖ スケジュールをカメラに適用するには

スケジュールを作成して、カメラに適用することができます。

スケジュールを作成してカメラに適用すると、カメラはスケジュールに従って録画を行います。

スケジュールを適用するには

1. 右側のツリーから適用するスケジュールを選択します。
2. 左側のツリーから適用するカメラを選択し、<=>をクリックします。
3. 右側のツリーからカメラを選択し、<=<をクリックしてスケジュールを取り消します。



設定

祝日

祝日を指定し、その祝日にスケジュール録画を実行することができます。

祝日ごとに実施サイクルと期間を設定することもできます。

■ サイクル

- サイクルなし: 祝日はその日のみ有効になります。
- 日: 設定した日数ごとに有効になります。
- 週: 設定した週数ごとに有効になります。
- 月: 設定した月数ごとに有効になります。
- 年: 設定した年数ごとに有効になります。

■ 範囲

- 開始日付: 祝日期間の最初の日付です。
- 無制限: 終了日付がなく、有効なままになります。
- カウント: 設定した回数分有効になります。
- 終了日付: 指定した日付まで有効になります。

祝日を編集するには

1. カレンダーで日付を選択します。
2. サイクル、終了日付および説明を設定し、**[追加]**をクリックします。
作成した祝日がリストに追加されます。
 - 例) 祝日を隔週で追加する場合は、次のように設定します。

祝日を作成するには

1. リストで編集する祝日を選択します。
2. サイクル、終了日付および説明を変更し、**[アップデート]**をクリックします。

祝日を削除するには

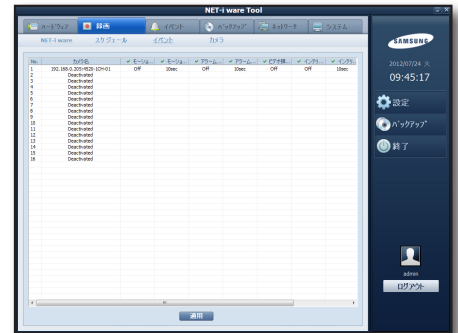
1. リストから削除する祝日を選択します。
2. **[削除]**をクリックします。
選択した祝日が削除されます。

録画イベント

イベントの状況を理解するために、イベントの発生時点を基準としたプレ録画時間とポスト録画時間を設定することができます。

イベントの発生時間を基準に指定した数のプレ画像とポスト画像が保存されます。

- モーション、アラーム、インテリジェント映像分析、音声イベント: プレ時間とポスト時間の両方を設定することができます。
- ビデオ損失イベント: このイベントの発生後には録画する画像がないため、プレ時間のみを指定できます。

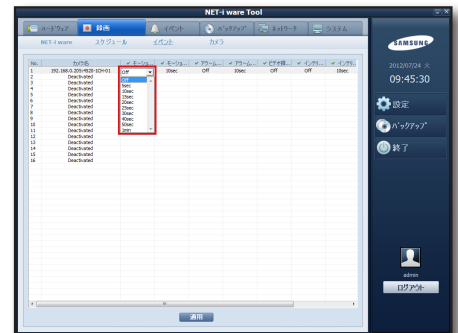


1. 録画する項目を選択します。
時間オプションが有効な場合は、使用できるサブ項目のリストが表示されます。



■ 時間オプションを Off に設定した場合、録画は続行されません。

2. 録画するプレ時間とポスト時間を選択し、各イベントの録画時間を指定します。
3. 下部にある[適用]をクリックして設定を保存します。



設定

録画カメラ

有効なカメラと録画タイプ(標準/イベント)ごとに保存するfpsを設定することができます。

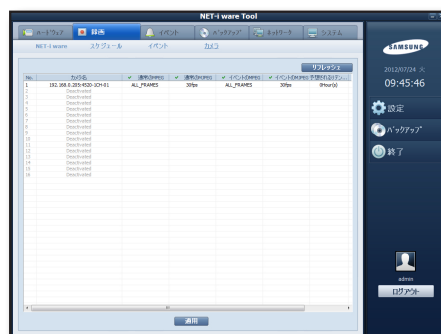
- 標準録画タイプには、手動録画と連続スケジュール録画があります。
- 使用可能なイベント録画タイプには、モーション/アラーム/ビデオ損失/インテリジェント映像分析/音声などがあります。

有効なカメラごとに録画ファイルの保管期間を指定できます。

- 期限の切れた録画ファイルは自動的に削除されます。

有効なカメラごとにファイル保持期間をチェックできます。

- リフレッシュボタンを押して、更新されたファイル保持期間を表示します。



映像設定	項目	説明
MPEG	All Frames	すべての受信フレームを保存します。
	Key Frames	1フレームのみ保存します。
MJPEG	1 ~ 30	選択した数のfpsを保存します。

これは映像設定には影響しません。

デバイスからの実際の受信フレームレートは、ここでの設定したものと異なる場合があります、受信と同じ数のフレームを受け取ります。

- 最大録画処理量は250 Mbpsです。
 - 最大処理量を超えなければ、3Mの解像度での録画が可能です。
 - 安定した録画を行うため、SATA2 7200rpmの最低仕様に合うHDDのご使用をお勧めします。
(1台のHDDの最大処理量が125Mbpsを超えないようにしてください。)
- NET-i ViewerまたはWeb Viewerを使用して、録画データを検索および再生できます。

イベントの設定

イベントカメラ

有効なカメラごとにイベント破棄時間と同期するアラーム入力を設定することができます。

イベント破棄時間とは、指定した時間範囲内の重複するイベントを破棄する時間です。

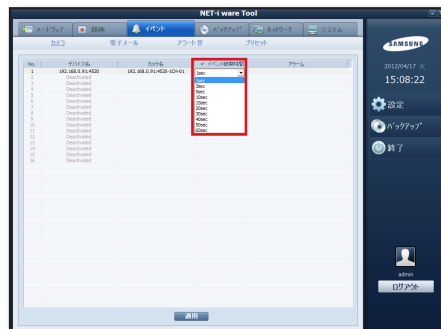
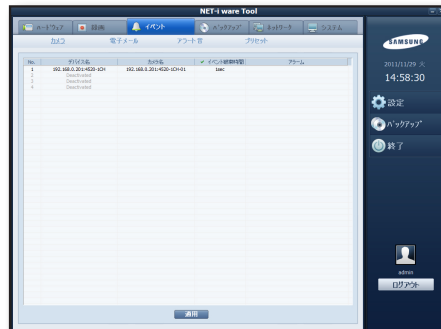
各カメラと同期するデバイスから返されるアラーム入力を設定することもできます。

- 同期するアラーム入力を設定しなかった場合: デバイスからのアラーム入力はNET-i wareには影響しません。
- 同期するアラーム入力を設定した場合: 録画とイベントの設定に従ってアラーム入力がデバイスから返された場合、スケジュール録画が録画とイベントの設定に従って開始されるか、電子メールが送信されます。



- デバイスのアラーム入力機能がアクティブでない場合は、NET-i ware Tool でアラーム入力を設定してもアラーム入力イベントは発生しません。

1. カメラメニューウィンドウで、接続されたカメラのイベント破棄時間項目をクリックします。
選択可能な時間オプションが一覧表示されます。
2. イベントを無視する時間を選択します。
3. アラーム項目をクリックし、同期するアラーム入力を選択します。
- 複数の項目を選択できます。

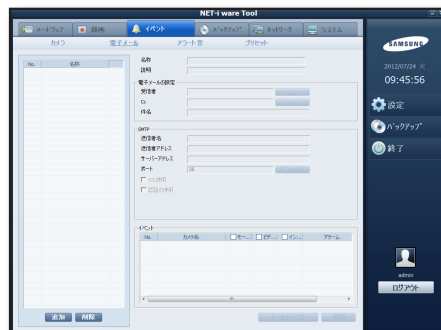


イベントメッセージング

イベントが発生した場合に電子メールを送信するように設定することができます。

❖ 電子メールオブジェクト管理

電子メールを作成/編集/削除することができます。
画面の左側ペインには電子メールリストが表示され、右側ペインでは選択した電子メールの情報を確認することができます。



設定

❖ 電子メールを作成するには

リストの下の[追加]をクリックして、名前と説明を入力し、ダイアログで[追加]をクリックします。
初期設定の電子メールが作成されます。



電子メール追加

名称

説明

❖ 電子メールを編集するには

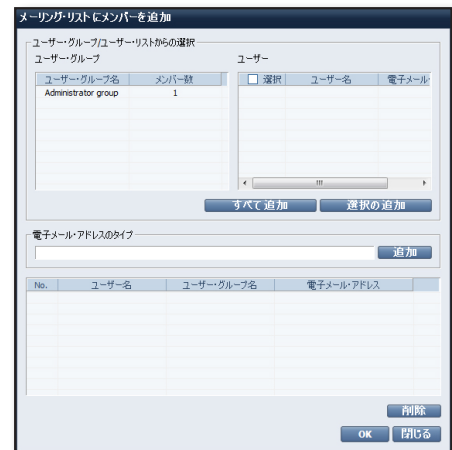
電子メールページで、名前、内容、または件名を変更します。

受信者またはCCを追加するには

1. [追加]をクリックします。

NET-i wareに登録済みのユーザー情報の使用

1. [すべて追加]をクリックするか、指定するユーザーを選択して[選択の追加]をクリックします。
または、電子メールアドレスを入力して、[追加]をクリックします。
追加した電子メールアドレスがリストの最後に表示されます。
完了後、[OK]をクリックします。
2. メールサーバーの設定で、必要に応じて次の項目を変更します。
送信者、受信者、サーバーアドレス、サーバーポート、認証有効化、ID、パスワード、およびSSL有効化。
3. 使用する転送設定に対して、カメラごとに、モーション、ビデオ損失、インテリジェント映像分析、およびアラームから所望の項目を選択します。
4. 変更内容を保存するには、[適用]をクリックします。



メンバーリストにメンバーを追加

ユーザーグループ/ユーザーリストからの選択

ユーザーグループ

ユーザーグループ名	メンバー数
Administrator group	1

ユーザー

☐ 選択	ユーザー名	電子メール
-----------------------------	-------	-------

電子メールアドレスのタイプ

No.	ユーザー名	ユーザーグループ名	電子メールアドレス
-----	-------	-----------	-----------

❖ 電子メールを削除するには

リストから電子メールを選択し、[削除]をクリックします。

❖ 電子メールを転送するには

電子メール転送条件が設定されると、イベントの発生時にすぐに指定した受信者とCC宛てにカメラから電子メールが送信されます。

- 電子メールのメッセージには、カメラ名、イベントの種類およびイベントの発生時間が記載されます。
- イベントの発生時刻に記録されたJPEG画像がある場合は、その画像も電子メールに添付されます。

イベントのアラート音

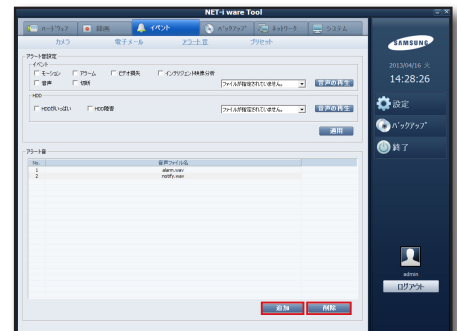
この機能により、イベントが発生するとアラート音出力されます。

❖ アラート音ファイルを登録するには

使用するアラート音ファイルを登録することができます。

- サポートされているファイル形式はwavのみです。
初期設定では、次の2つのwavファイルが指定されています。
- alarm.wav, notify.wav

1. 左下隅にある[追加]をクリックします。
2. 使用するアラート音を選択します。
選択したファイルが登録されます。
3. 登録済みのアラート音ファイルを削除するには、リストからファイルを選択して、[削除]をクリックします。

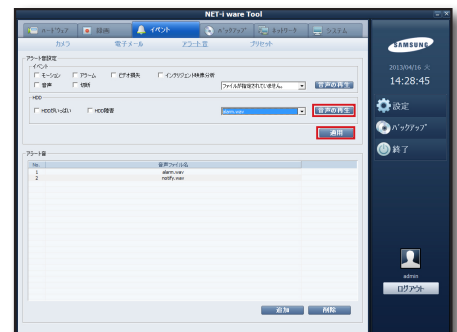


❖ イベントを設定するには

アラート音出力されるイベントを指定することができます。
設定可能なイベントの種類は、次のとおりです。

- モーション: 接続されているデバイスからモーションイベントを受信した場合
- アラーム: 接続されているデバイスからアラームイベントを受信した場合
- ビデオ損失: 接続されているデバイスからビデオ損失イベントを受信した場合
- インテリジェント映像分析: インテリジェント映像分析イベントがデバイスから送信された場合
- 音声: デバイスからの音声イベント受信時
- 切断: デバイスから切断しました
- HDDがいっぱい: HDDがいっぱいになり、これ以上保存できない場合
- HDD障害: HDDが故障して、データを保存できない場合

1. デバイスまたはHDDのイベントが発生したときに出力するアラート音をリストから選択します。
2. [音声の再生]をクリックすると、あらかじめ音を聞くことができます。
3. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。



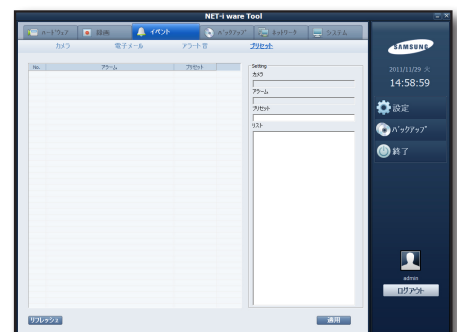
イベントプリセット

これによりアラーム発生時にカメラのプリセットを移動することが可能になります。

❖ プリセット設定

アラーム発生時に、現在のプリセットが移動される先のプリセットを指定します。

- これは、デバイスがアラームイベントおよびプリセット機能をサポートしている場合にのみ有効です。
イベントカメラの設定ページで、使用されるアラームを指定する必要があります。
- リフレッシュを押し、現在のプリセットリストを更新します。

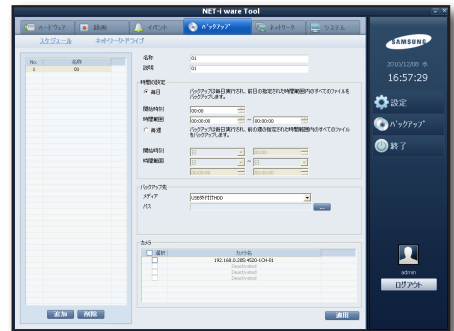


設定

バックアップ設定

スケジュールバックアップ

設定したスケジュールに従い、保存データのバックアップを取ることができます。



❖ スケジュールバックアップの管理

スケジュールバックアップの作成/編集/削除を行うことができます。画面の左ペインにスケジュールバックアップリストが表示され、選択したスケジュールの情報を右ペインで確認することができます。

❖ スケジュールバックアップを作成するには

1. リストの下にある[追加]をクリックします。スケジュールのバックアップ追加ダイアログが開きます。
2. ダイアログで名前と説明を入力して、[追加]をクリックします。スケジュールバックアップの初期設定が作成されます。



❖ スケジュールバックアップを編集するには

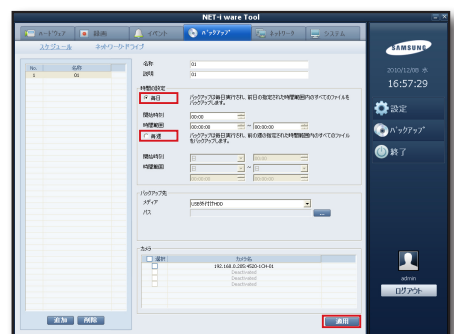
サーバー名および説明を変更することができます。

1. スケジュールバックアップの間隔および範囲を変更します。バックアップ間隔で、[毎日]か[毎週]を選択します。
- スケジュールバックアップの開始時間および範囲を入力します。
2. スケジュールバックアップを行う項目を選択します。サポートされている外部USB HDDおよびネットワーク・ドライブのパスを指定することができます。



- オペレーティング・システムで認識できるドライブのみ使用できます。
- メディアのネットワークドライブを選択する場合は、バックアップメディアの有効なIDおよびパスワードを入力します。いずれかが無効の場合、スケジュールバックアップが正常に実行されないことがあります。
- フォルダブラウザでネットワークドライブが見つからない場合は、NET-i ware Tool プログラムを再起動します。

3. スケジュールバックアップを行う複数のカメラを選択します。
4. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。



❖ スケジュールバックアップを削除するには

スケジュールバックアップリストからスケジュールバックアップを選択し、[削除]をクリックします。

❖ スケジュールバックアップを実行および再生するには

スケジュールバックアップは、設定したスケジュールに従って実行されます。

- スケジュールバックアップの間隔を毎日に設定した場合：バックアップ範囲内の1日前の録画データがバックアップされます。
- スケジュールバックアップの間隔を毎週に設定した場合：バックアップ範囲内の1週間前の録画データがバックアップされます。
- スケジュールバックアップファイルのパスは次のとおりです：ユーザー指定のパス\N\NData\Camera ID\Recording Date\Sstart-end_ID_0000(1).rec1
カメラIDはデバイスのMACアドレスおよびその他の情報に基づいて登録されます。
 - IDに続く4桁は、重複するインデックスです。最も小さい数字が最新の録画です。
 - 括弧内の数字は、同じファイル名を識別する要素です。
 - NET-i viewerの映像再生機能を使用して、スケジュールバックアップファイルを再生することができます。

ネットワークドライブ

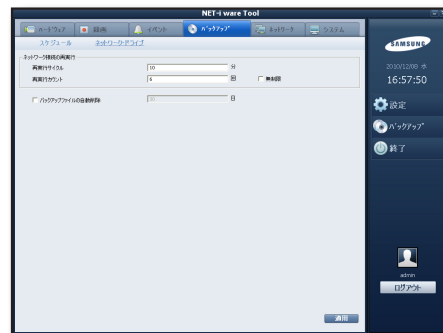
スケジュールバックアップ実行にネットワークドライブを使用する場合、ネットワーク接続の再実行およびバックアップファイルの自動削除を設定することができます。

❖ ネットワーク接続の再実行

スケジュールバックアップ開始時にネットワークが未接続の場合、指定したサイクルおよび回数に従って接続が再実行されます。

❖ バックアップファイルの自動削除

指定した自動削除日より前のバックアップファイルがあれば、スケジュールバックアップ開始時に削除されます。



ネットワーク設定

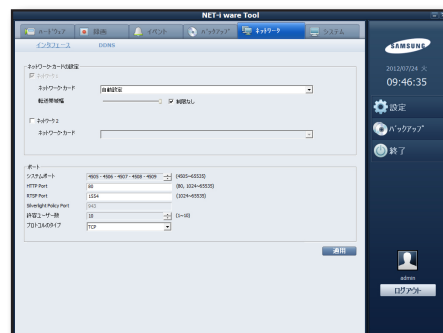
NET-i viewerとWeb Viewerにアクセスするための設定を確認し、構成することができます。

インターフェース

❖ ネットワークアクセス数

アクセスするネットワークの数を指定することができます。

1. アクセスするネットワークを確認します。
 - 1つのネットワークにアクセスする場合：“ネットワーク2を有効化”オプションの選択を解除します。
1つのネットワークのみにアクセスする場合、NET-i wareおよび外部デバイスとのすべての通信は、選択したネットワークを介して行われます。
 - 2つのネットワークにアクセスする場合：“ネットワーク2を有効化”オプションを選択します。
この場合、NET-i wareとの通信はネットワーク1を介して行われ、外部デバイスとの通信はネットワーク2を介して行われます。これによって、ネットワーク負荷（トラフィック）が分散されます。
2. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。



設定

❖ ネットワークを選択するには

ネットワーク1とネットワーク2のいずれか1つを選択します。これがPCにインストールされて使用可能になります。1枚目のネットワークアダプタカードでは、帯域を変更することができます。

ネットワーク1の場合、必要に応じて帯域を変更することができます。

- ネットワーク設定を変更すると、NET-i ware Serviceは再起動されます。

❖ ポート設定

1. 使用するポート範囲を設定します。

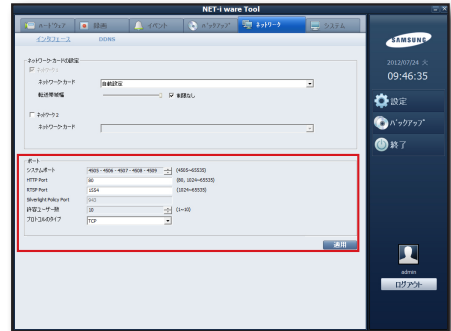
同時接続ユーザー数は、TCP/UDP（ユニキャスト）の場合は10人、UDP（マルチキャスト）の場合は最大20人です。クライアントプログラムとプロトコルタイプを指定することができます。

- TCP
- UDP (ユニキャスト)
- UDP (マルチキャスト): マルチキャストアドレス、ポートおよびTTLを入力してください。

2. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。



- 接続方法としてUDP（マルチキャスト）を有効にする場合は、マルチキャストがサポートされるようにネットワークを設定する必要があります。
 - レイヤー3以上をサポートしているスイッチデバイスのご使用をお勧めします。



ネットワーク DDNS

NET-i wareにDDNSを登録します。

- 使用できるDDNSは次のとおりです。

- websamsung.net
- Dyn dns.com (プライベートDDNS)
- No-ip.com (プライベートDDNS)
- Changeip.com (プライベートDDNS)
- samsungipolis.com

1. 指定するDDNSを選択します。

- websamsung.netを登録する際に追加設定は不要です。
- Private DDNSオプションを選択した場合、登録のために、製品ID、ユーザー名、およびパスワードを指定する必要があります。

2. 正しく登録されたかどうかを確認するには、[DDNSテスト]をクリックします。

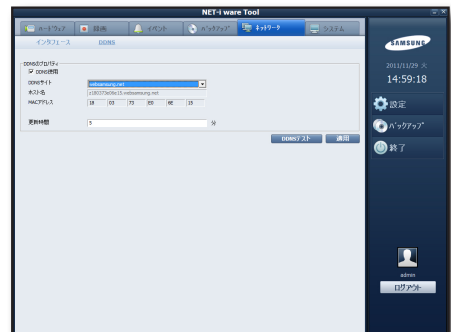
登録に成功すると、確認ウィンドウが表示されます。

3. アップデートの間隔を分単位で設定し、それをDDNSに定期的に登録することができます。

4. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。



- NET-i ware に DDNS を設定すると、DDNS の URL を使用して NET-i ware を登録することができます。



システム設定

システムユーザー

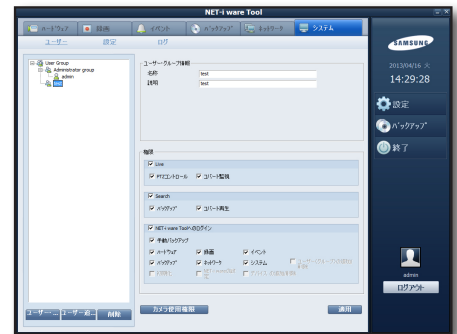
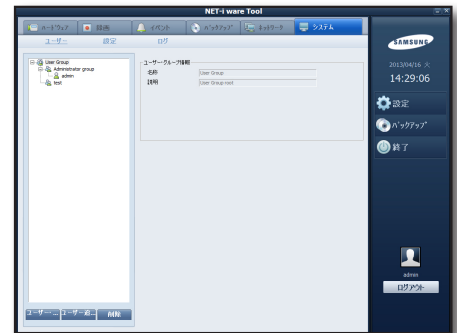
ユーザーおよびユーザーグループを登録して、必要な権限を設定することができます。

マネージャ権限を持つデフォルトユーザー (admin) およびユーザーグループがあらかじめ用意されています。

- ユーザー (グループ) は互い親子関係にあります。
- ユーザーグループには、複数のユーザーを含めることができます。
 - ユーザーには他のユーザーや他のユーザーグループを含めることはできません。
 - デフォルトのユーザーパスワードの初期値は4321です。
セキュリティ上の理由から、デフォルトのユーザーパスワードを変更してください。

❖ ユーザー (グループ) 管理

ユーザー (グループ) の作成/編集/削除を行うことができます。
System User (システムユーザー) 設定ウィンドウの左側のリストにはユーザー (グループ) ツリーが表示され、右側のペインで選択したユーザー (グループ) の情報を確認することができます。



❖ ユーザーグループを作成するには

1. ツリーの親として使用するユーザーグループを選択し、リストの下にある[ユーザー・グループ追加]をクリックします。
2. ユーザー・グループ追加ウィンドウで名前と説明を入力して、[追加]をクリックします。



❖ ユーザーアカウントを作成するには

1. ツリーの親として使用するユーザーグループを選択し、リストの下にある[ユーザー追加]をクリックします。
2. ユーザー追加ウィンドウで名前、説明、パスワード、電話番号、電子メールアドレスを入力し、[追加]をクリックします。
3. ユーザーアカウントは、選択した親の下に作成されます。
 - 親のユーザーグループを選択しなかった場合、ユーザーアカウントはデフォルトのユーザーグループの下に作成されます。



設定

❖ ユーザー（グループ）アカウントを編集するには

1. システムユーザーページのツリーから、編集するユーザー（グループ）アカウントを選択します。

- ユーザーグループごとに、次の設定を変更することができます。

- 名前、説明

- 権限

Live: 監視、PTZ コントロール、コバート監視

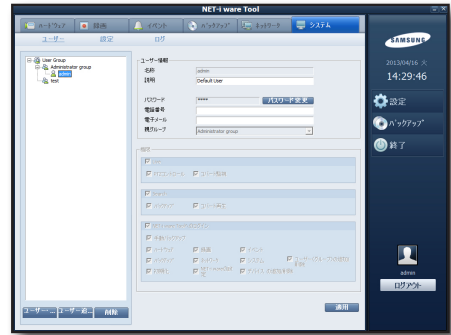
- コバート監視: コバート機能がオンに設定されているカメラ画像を監視することができます。

Search: 再生、バックアップ、コバート再生

- コバート再生: コバート機能がオンに設定されているカメラ画像を再生することができます。

NET-i ware Tool へのログイン: 手動バックアップ、ハードウェア、録画、イベント、バックアップ、ネットワーク、システム

- カメラのアクセス権限: カメラごとにアクセス権限を設定または取り消すことができます。



- 管理者ユーザーには次の権限があります。

- ユーザー（グループ）の追加 / 削除

- 監視ユーザー（グループ）の変更

- 初期化

- NET-i ware の設定

- デバイスの追加 / 削除

- カメラのアクセス権限の変更

- 追加カメラに対する自動権限

- ユーザーは、次の設定を変更することができます。

- 名前、説明

- パスワード

- 電話番号

- 電子メール

- 親グループ（ドラッグアンドドロップでツリー内のユーザー情報を編集することもできます）

- デフォルトユーザーは、自身の親グループを変更することはできません。

- 権限を変更することはできません。また、権限は親グループから継承されます。

2. [適用]をクリックして、変更内容を保存します。

❖ ユーザー（グループ）アカウントを削除するには

システムユーザーページのツリーから、削除するユーザー（グループ）を選択して、[削除]をクリックします。



- ユーザーグループを削除すると、その子ユーザー（またはユーザーグループ）も削除されます。

❖ ユーザーログイン

NET-i ware ToolまたはNET-iビューワーからNET-i wareにログインした場合は、ユーザーの権限に応じて機能が制限されます。

システム設定

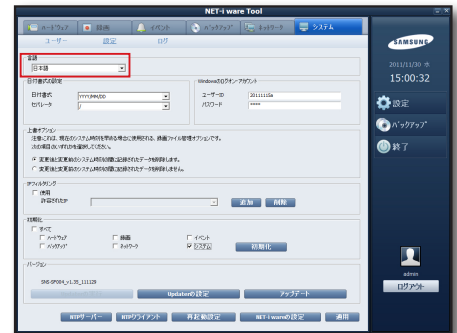
NET-i wareのシステム設定を行うことができます。

❖ 言語

プログラムで使用する言語を設定することができます。

韓国語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、スペイン語、日本語、トルコ語、チェコ語、ポーランド語、セルビア語、ルーマニア語、ポルトガル語、オランダ語、クロアチア語、ハンガリー語、ギリシャ語、台湾語、スウェーデン語、デンマーク語、ノルウェー語、フィンランド語から1つ選択します。

- 初期設定ではオペレーティングシステムの言語で、OSでサポートされていない言語が選択された場合は英語になります。
- 言語の変更が適用されない場合は、次の項目を確認してください:
 - 選択した言語の言語パックがある場合は、あらかじめその言語パックをインストールしておきます。
 - Windows XP/Windows 2003
[コントロール パネル → 地域と言語のオプション 地域オプション] および [コントロール パネル → 地域と言語のオプション → 詳細設定] から適切な言語を選択します。
 - Windows Vista
[コントロール パネル → 地域と言語のオプション → 形式] および [コントロール パネル → 地域と言語のオプション → キーボードと言語 → 標準] から適切な言語を選択します。



❖ Windowsログオンアカウントの設定

ネットワークドライブを使用してスケジュールをバックアップするには、あらかじめWindowsログオンアカウントを作成しておく必要があります。

- Windowsログオンアカウントは、ご使用のPCのWindows OSにログオンするために必要な情報です。
Windowsログオンアカウントは、コントロール パネル → 管理ツール → コンピュータの管理 → ローカル ユーザーとグループで確認することができます。
- 有効なWindowsログオンアカウントを作成後、システムを再起動させる必要があります。

❖ 上書きオプション

PCの時刻を現在時刻よりも遅らせるように変更すると、変更後の時刻より後に録画されたデータを削除することができます。

- データを削除しないと、重複した時間内のデータも重複する可能性があります。
- ご使用のコンピュータの標準時刻 (GMT/DST) を変更した場合、NET-i wareが正常に動作するためにはコンピュータを再起動する必要があります。

❖ IPフィルタリング

IPフィルタオプションの使用を指定します。

また、利用可能なIPを追加または削除することもできます。

IPフィルタ機能を使用すると、利用可能なIPのみを使用してNET-iビューワーからNET-i wareにログインすることができます。

1. IPフィルタを使用する場合は、該当するオプション項目を選択します。
2. [追加]をクリックします。
3. IPアドレスを入力して、[追加]をクリックします。
4. 設定を保存するには、[適用]をクリックします。



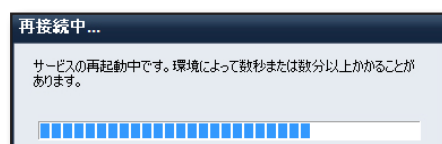
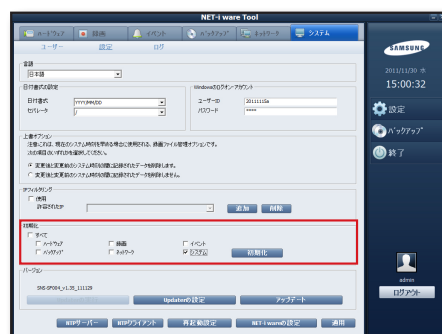
設定

❖ 初期化

NET-i wareの設定を初期状態に復元します。
リセットする項目を選択します。
リセット可能な項目は次のとおりです:

- すべて: すべての設定をリセットします。
- ハードウェア: ハードウェア設定をリセットします。
- 録画: 録画設定をリセットします。
- イベント: イベント設定をリセットします。
- バックアップ: バックアップ設定をリセットします。
- ネットワーク: ネットワーク設定をリセットします。
- システム: システム設定をリセットします。
言語は、OSで設定されている言語にリセットされます。

1. リセットする項目を選択します。
2. 右隅の[初期化]をクリックします。項目をリセットすると、NET-i ware Serviceが再起動され、再接続ダイアログが表示されます。



❖ バージョン

NET-i wareのバージョンを表示します。

NET-i ware Updater

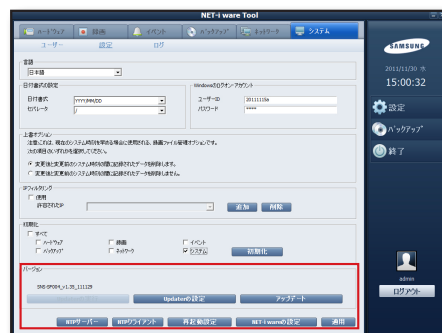
NET-i ware Updaterを手動で実行します。

Updaterの設定

自動アップデートを設定することができます。

アップデート

手動アップデートを実行することができます。



❖ NTPサーバー

NTPサーバーのサービスのステータスとアドレスを確認できます。
NTPサーバーサービスの動作を開始または停止できます。

❖ NTP Client

時刻同期用のNTPサーバーを指定します。
PC時刻を手動で変更できます。
定期的に時刻同期を実行する頻度を指定できます。

❖ システム再起動設定

システム (PC) を再起動する頻度および時刻を指定できます。



❖ NET-i ware設定のインポート/エクスポート

NET-i ware設定を抜き出して、その情報をご使用のPCにインストールされたNET-i wareに適用することができます。録画データをインポートまたはエクスポートすることはできません。

NET-i ware設定のエクスポート

1. 下部にある[NET-i wareの設定]をクリックします。
NET-i ware設定のインポート/エクスポートダイアログが開きます。
2. エクスポートを選択して、ファイルパスを指定します。
3. [エクスポート]をクリックします。
すべての設定がファイル形式で作成されます。



NET-i ware設定のインポート

1. 下部にある[NET-i wareの設定]をクリックします。
NET-i ware設定のインポート/エクスポートダイアログが開きます。
2. インポートする項目を選択し、インポートをクリックします。
インポートボタンが有効になります。
3. ファイルパスを選択し、[インポート]をクリックします。



設定

システムログ

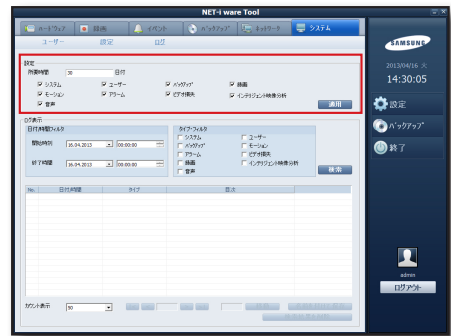
ログの保存および保存されたログの検索を設定することができます。

❖ ログ設定

設定期間内のログのみが保存され、期限切れのログは自動的に削除されます。

保存するログの種類を設定します。

- 設定可能なログの種類は次のとおりです：
 - システム：スタート/ストップサービス、HDD フル、HDD の追加/削除、書き込みエラー、時間変更、初期設定、ビデオ・プロファイル編集、デバイスが切断されました
 - ユーザー：ユーザーのログイン/ログアウト
 - バックアップ：バックアップの開始/停止、バックアップの障害
 - 録画：開始/録画の停止/録画失敗
 - モーション：デバイスのモーション検知イベント
 - アラーム：デバイスのアラームイベント
 - ビデオ損失：デバイスのビデオ損失イベント
 - インテリジェント映像分析：デバイスのインテリジェント映像分析イベント
 - 音声：デバイスの音声検出イベントをログに記録



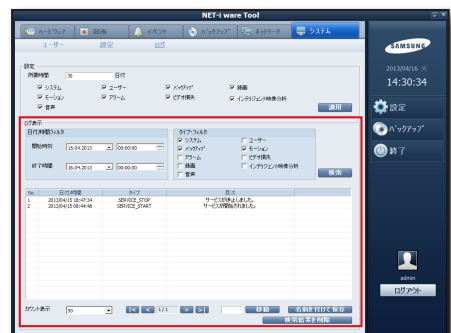
1. ログの保管期間を指定します。
 - 保管期間: 1~365日
2. 選択するログの種類にチェックを入れます。
3. 設定を保存するには、**[適用]**をクリックします。

-  ■ ログは 20,000 件まで保存することができます。ログ件数がこの最大値を超えると、最も古いログから順にファイルにバックアップされます。バックアップログ確認用のパス：
NET-i ウェアのインストールフォルダの下にある "Log (ログ)" フォルダ
例) C:\Program Files\Samsung\NET-i ware\log

❖ ログを検索するには

ログの検索を行う際に、検索条件を設定することができます。

1. ログの検索範囲として、日付/時間を指定します。
検索範囲には、時間を秒単位まで指定することができます。
2. 選択する検索の種類にチェックを入れます。
3. **[検索]**をクリックします。
検索条件に一致したログが一覧表示されます。
4. 1ページに表示させるログ数を**[カウント表示]**で設定することができます。
一覧が長い場合は、ページをスクロールさせて前のページや次のページに移動することができます。
5. 現在のページのログをエクスポートするには、**[名前を付けて保存]**をクリックします。
6. 検索したログを削除するには、**[検索結果を削除]**をクリックします。
削除されたログは検索対象にはなりません。

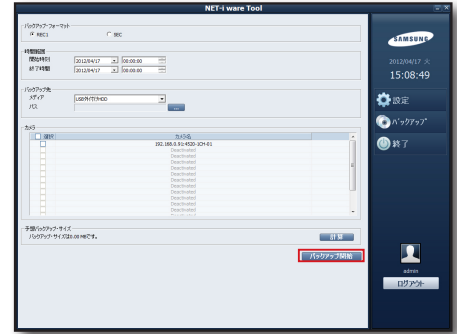


バックアップ

データのバックアップをとるには

指定したデータを検索し、手動でバックアップをとることができます。

1. メインページの右隅にある[バックアップ]をクリックします。
2. バックアップファイルの形式、時間、ストレージデバイス、およびバックアップデータを選択し、[バックアップ開始]をクリックして、選択したデータのバックアップをとります。



バックアップファイルの形式

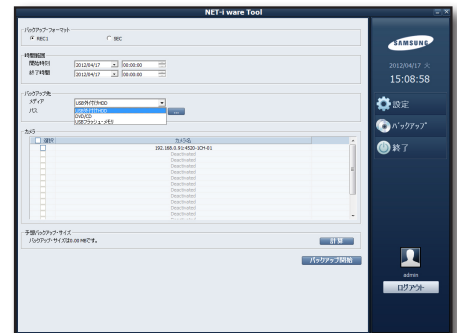
バックアップファイルの形式をREC1かSECから選択します。

- REC1 : NET-iビューワのSearch Viewerにある映像再生機能で再生可能なファイル形式。
- SEC : 特別なビューワがなくても再生可能なファイル形式。
 - SEC Backup Viewerの通常の操作に必要な最小要件は次のとおりです。
CPU: Quad Core 2.5GHz以上、DRAM: 3GB以上

バックアップ条件

バックアップ時間、ストレージデバイスおよびカメラを選択します。

- **時間範囲**: バックアップをとる録画データの時間範囲を設定します。
- **バックアップ先**: USB外付けHDD、DVD/CD、USBフラッシュメモリから1つ選択して、サブパスを指定します。
 - Windows Explorerの"このCD-RWの消去"メニューを使用して、DVD-RWディスクを再利用することができます。
 - DVD+RW ディスクは再利用できません。
- **カメラ**: バックアップをとるカメラを複数台選択します。
 -  オペレーティング・システムで認識できるドライブのみ使用できます。
 - Windows 7 ユーザーの場合、バックアップ先ペインの "CD/DVD ドライブ" を選択して、ディスク焼付ポップアップを表示します。ディスク焼付ポップアップで "ディスク設定オプション" を選択しても、CD/DVD バックアップは正しく動作しません。ディスク焼付ポップアップで "取消" ボタンを押します。



バックアップ

バックアップデータのサイズを計算するには

上記の手順で選択したバックアップデータの元のサイズを確認することができます。

バックアップをとるデータを選択し、右下隅にある[計算]をクリックします。



- バックアップデータの実際のサイズは、情報が追加されるため、元のサイズよりも少し大きくなります。
- バックアップ期間に複数の録画セクションが含まれる場合は、いずれかを選択してバックアップデータサイズを見積もります。

バックアップの進行状態

1. バックアップをとるファイルを選択します。
2. [バックアップ開始]をクリックします。
バックアップが開始され、バックアップの進行状態ウィンドウが表示されます。
3. バックアップをキャンセルする場合は、バックアップの進行状態ウィンドウで[取消]をクリックします。
 - バックアップの進行状態ウィンドウでは、次の情報を確認することもできます。
 - メディア
 - バックアップサイズ
 - 空き容量
 - 現在の作業
 - 結果
 - バックアップの進行状態
 - バックアップ期間内に複数の録画セクションが含まれる場合は、いずれかを選択してバックアップします。



Service Manager

プログラムをPCにインストールすると、デスクトップの右側のトレイにService Managerアイコンが表示されます。

SERVICE MANAGER の使用方法

Service ManagerはWindowsのトレイに常駐して、NET-i ware Serviceを管理します。

アイコンを選択して、右クリックします。

サービスメニューが開きます。



サービスの管理

サービスの開始または停止を行うことができます。

- NET-i ware Serviceの開始: NET-i ware Serviceを開始します。
- NET-i ware Serviceの停止: NET-i ware Serviceを停止します。

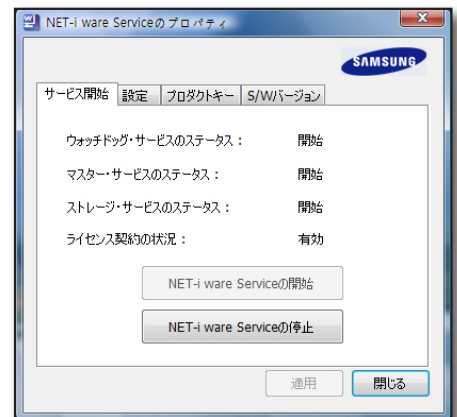
❖ NET-i ware Toolプログラム

NET-i ware Toolプログラムを実行することができます。

❖ サービス情報の表示

[サービス・プロパティの表示] をクリックすると、NET-i ware Service 情報ウィンドウが開きます。

- サービス開始タブ: サービスのステータスを確認することができます。
- 設定タブ: システムの起動時に、NET-i ware Serviceが自動的に実行されるよう設定することができます。
- プロダクトキータブ: インストール済製品のプロダクトキーが表示されます。
- S/Wバージョンタブ: PCにインストールされているソフトウェアの現在のバージョンを確認することができます。



NET-i ware のアップデート

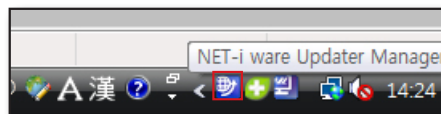
インストール

NET-i wareのインストーラファイルを実行すると、同時にUpdaterファイルもインストールされます。

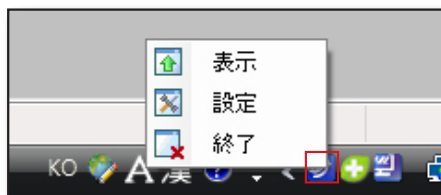
実行

NET-i ware Toolのシステム設定ページでUpdaterの実行をクリックするか、またはService ManagerでUpdaterの開始をクリックして、NET-i ware Updaterを起動します。
プログラムが正常に起動すると、タスクバーに“NET-i ware Updater Manager”プログラムのトレイアイコンが表示されます。

1. アイコンの上にカーソルを置きます。
図のようにツールのヒントが表示されます。



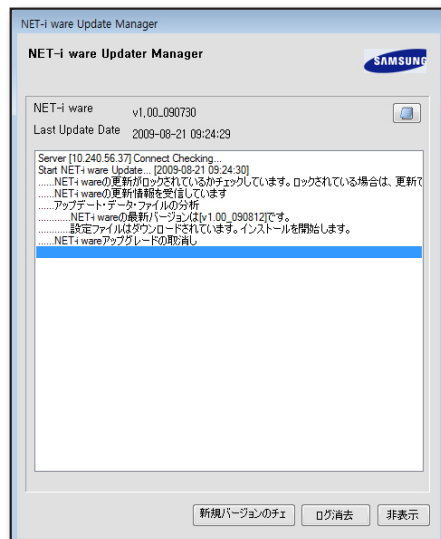
2. トレイアイコンを右クリックします。
図のようにコンテキストメニューが表示されます。



❖ 最新バージョンにアップデートするには

プログラムの最新バージョンは、自動チェック機能の設定に関係なく、サーバーに接続してアップデートすることができます。

1. [NET-i ware Updater Manager]トレイアイコンを右クリックします。
2. ポップアップされるコンテキストメニューから、[表示]を選択します。
NET-i ware Updater Managerウィンドウが開きます。
3. “NET-i ware Updater Manager”ウィンドウで、[新規バージョンのチェ]をクリックします。
 - ① このウィンドウでは、現在インストールされているバージョンとインストール日付を確認することができます。
 - ② []ボタンを選択して、現在のバージョンのリリースノートを確認します。
 - ③ 通信ログを確認することができます。
このログを使用して、障害の原因を確認することができます。
 - ④ [新規バージョンのチェ]ボタンを選択すると、サーバーに現在のバージョンより新しいバージョンがリリースされているかどうかを確認することができます。
 - ⑤ [ログ消去]をクリックすると、1つまたは複数のログを削除することができます。
 - ⑥ [非表示]をクリックすると、メニューウィンドウが非表示になります。



自動アップデートの設定

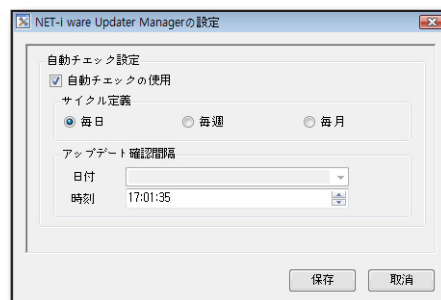
アップデートを自動的に確認するチェック間隔を設定することができます。

1. [NET-i ware Updater Manager]トレイアイコンをクリックします。
2. ポップアップされるコンテキストメニューから、[設定]を選択します。
3. 設定ウィンドウで設定を変更し、[保存]をクリックします。

自動チェックの使用方法

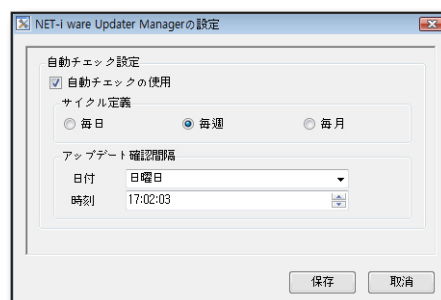
アップデートを毎日確認するように設定することができます。

1. 毎日をクリックします。
2. 自動チェックを実行する時刻を選択します。
例) 右図の場合、毎日午後5時1分35秒に自動チェックが実行されます。



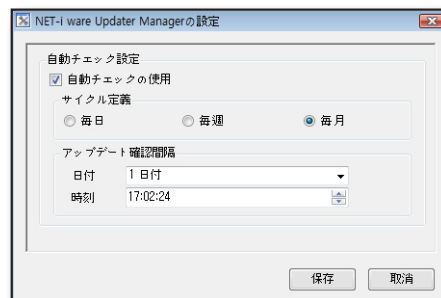
アップデートを毎週確認するように設定することができます。

1. 毎週をクリックします。
2. 自動チェックを実行する曜日を選択します。
3. 自動チェックを実行する時刻を選択します。
例) 右図の場合、毎週日曜日の午後5時2分3秒に自動チェックが実行されます。



アップデートを毎月確認するように設定することができます。

1. 毎月をクリックします。
2. 自動チェックを実行する日付を選択します。
3. 自動チェックを実行する時刻を選択します。
例) 右図の場合、毎月1日の午後5時2分24秒に自動チェックが実行されます。

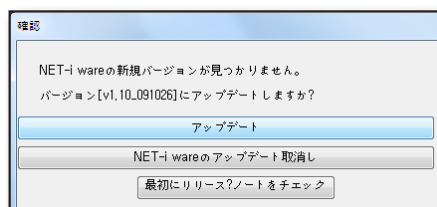


NET-i ware のアップデート

自動アップデートシナリオ

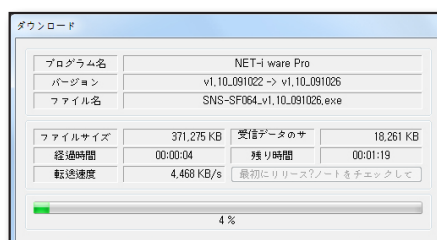
最新バージョンの通知

サーバーに最新バージョンがある場合、図のようなメッセージが表示されます。
リリースノートを確認し、アップデート処理を行うか、またはキャンセルするかを選択してください。



ダウンロード

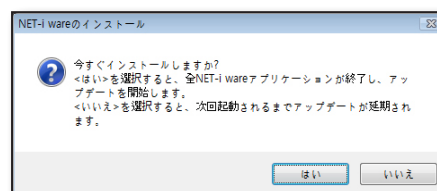
インストールファイルをダウンロードするには、[アップデート]をクリックします。



インストールの確認

ダウンロード処理が完了すると、ただちにアップデートファイルをインストールするよう促されます。

[いいえ]を選択すると、図のように「NET-i wareのインストール」ポップアップが表示され、次回プログラムを起動する際にインストールするかどうかを選択することができます。このメッセージは、ダウンロードされたPCに最新バージョンがある場合にのみ表示されます。「NET-i wareのインストール」ウィンドウで[いいえ]を選択してプログラムを実行すると、[NET-i ware Updater Manager]はサーバーに新規バージョンがないかどうかを確認し、ある場合は既存のアップデートを破棄して最新バージョンをダウンロードします。



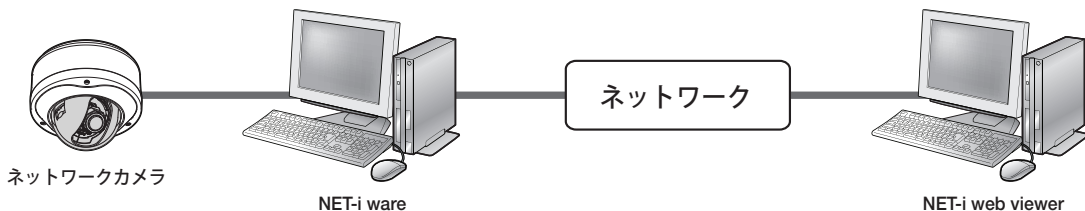
インストール

[はい]を選択すると、すべてのNET-i wareアプリケーションが終了し、インストールが開始されます。

NET-i Web Viewer

WEB VIEWER とは

リモートビューワを使用すると、NET-i wareにリモートから接続し、リアルタイム監視、PTZ（指定した場合）コントロール、および検索を実行できます。



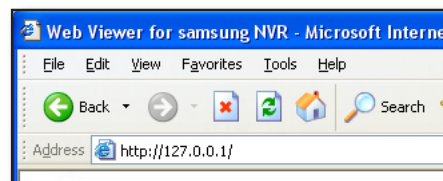
- NET-i ware の Web Viewer は、主要な Web ブラウザをサポートしています。
 - Internet Explorer、Safari、Chrome、Firefox
 - MAC OS X 10.7 Lion 上で動作する Chrome browser の使用はサポートされていません。
 - Safari 以外の MAC OS の Web ブラウザを使用する場合、一部機能が使用できない可能性があります。
 - CPU の使用量が異常に高い場合、Web Viewer は適切に機能しない可能性があります。その場合は、Web Viewer を再起動してください。

WEB VIEWER の概要

- Webブラウザを開き、NET-i wareを実行しているPCのIPアドレスをアドレスバーに入力します。

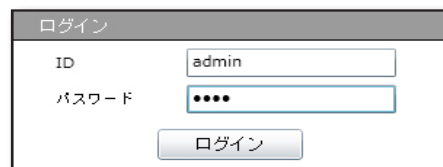


- Silverlight がインストールされていないか、Silverlight の下位バージョンがインストールされている場合、Silverlight をインストールするか、現在のバージョンをアップグレードしてから次の手順に進む必要があります。(46 ページ)

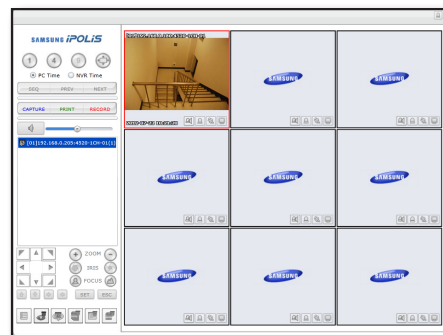


- ユーザーIDとパスワードを入力します。

- デフォルトID: admin
- パスワード: 4321



- [ログイン]をクリックします。
Live Viewerのメイン画面が表示されます。



NET-i Web Viewer

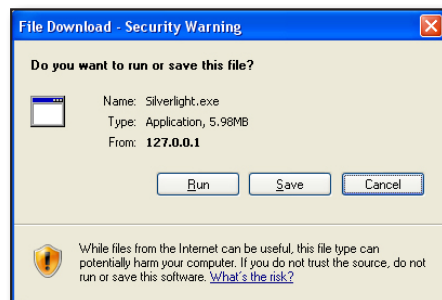
SILVERLIGHT のインストール

ユーザーのPCにSilverlightがインストールされていないか、古いバージョンがインストールされている場合には、Web Viewerにアクセスすると自動的にSilverlightのインストールページに出力先が変更されます。

1. <Click now to install> をクリックします。



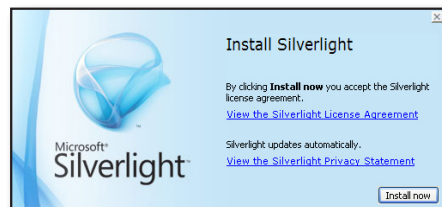
2. ファイルダウンロードのダイアログがポップアップしたら <Run> をクリックします。



3. ダウンロード完了後、<Run> をクリックします。



4. Silverlightのインストールページが表示されます。
インストールを続行するには<Install Now>をクリックします。

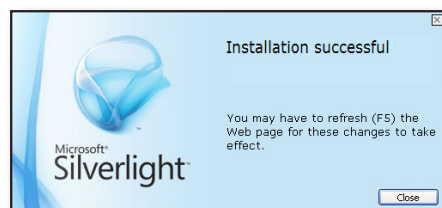


5. 完了後、<Close> をクリックします。
6. Webブラウザを終了して再起動し、Web Viewerにアクセスします。
適切にSilverlightがインストールされている場合は、ライブ画面が表示されます。



- 適切にインストールするには、次のようにポップアップのブロックを設定します。

例) Internet Explorer → ツール → ポップアップ ブロック
→ ポップアップ ブロックを無効にする (B)



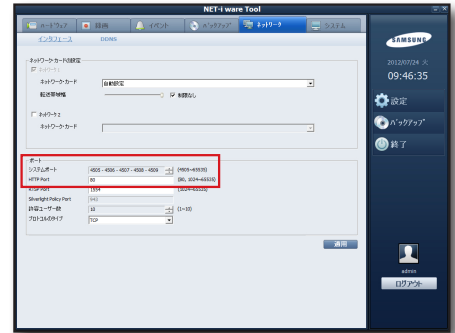
WEB VIEWER の接続ステータスの確認

Web Viewerと接続できない場合は、次のことを確認します。

1. システムポートが4505から4534の間で設定されていることを確認します。
NET-i ware Toolの<ネットワーク> - <リモート接続> - <System Port>でポート番号を確認および変更できます。
2. NET-i wareで指定したHTTPポートが同時に他のプログラムで使用されていないことを確認します。
NET-i ware Toolの<ネットワーク> - <リモート接続> - <HTTP Port>で設定を変更できます。



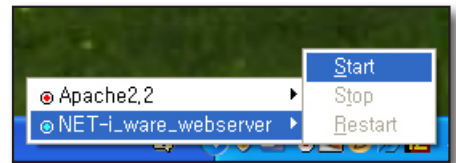
- ポート番号が 80 ではない場合は、Web Viewer のアドレスバーで IP アドレスの隣にポート番号を追加する必要があります。
- システムポートが変更されたために Web Viewer が切断されている場合は、Web ブラウザをリロードして再度ログインします。



3. NET-i wareのWebサーバーが適切に動作していることを確認するために、Monitor Apache Server を起動します。
トレイアイコンをクリックするかプログラムメニューを選択してプログラムを実行し、“NET-i_ware_webserver”が現在実行されているかどうかを確認します。



実行されていない（緑のアイコン）場合は、Apacheのサービス項目まで移動して“NET-i_ware-webserver”の<Start>をクリックします。サービスが適切に動作することを保証するには、上記の手順2に示したのと同じポートを使用しないでください。



4. Windows Server 2003/2008の場合、Web ViewerではInternet Explorerの拡張セキュリティによって、接続に問題が発生する可能性があります。Web ViewerでアクセスしたWebページのコンテンツがブロックされた場合は、次を確認します。

- Windows Server 2003

[コントロール パネル - プログラムの追加と削除 - Windowsコンポーネントの追加と削除]に移動し、[Internet Explorerセキュリティ強化の構成]の選択を解除します。

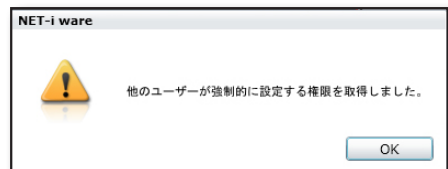
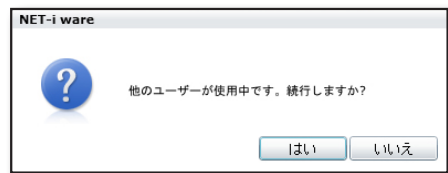
- For Windows Server 2008

[コントロール パネル - 管理ツール - サーバー マネージャー - サーバーの概要 - セキュリティ情報 - IE ESCの構成]に移動し、[Internet Explorerセキュリティ強化の構成]を[使用しない]に変更します。

NET-i Web Viewer

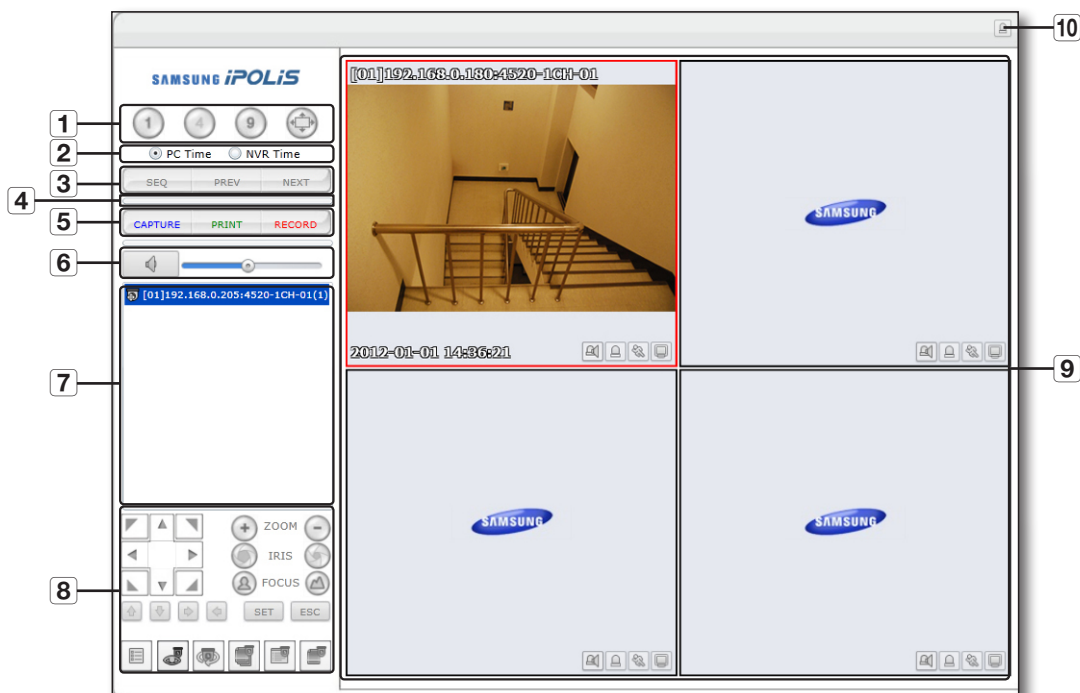
5. Web Viewerの設定ページまたはNET-i ware Toolに一度にアクセスできるユーザーは1人のみです。
別のユーザーがすでに設定ページにアクセスしている場合、このページに強制的にアクセスするよう求められます。
- <いいえ>を選択した場合、このページにアクセスすることはできません。
 - <はい>を選択した場合、現在のユーザーによるアクセスが切断され、このページにアクセスできるようになります。

この場合、現在のユーザーは設定ページ内の任意の設定を行うことができなくなり、別のユーザーによる強制的アクセスについて通知されます。



LIVE VIEWER

Live Viewer の概要



項目		説明
1	分割モード	分割モードまたは全画面に切り替わります。
2	時刻表示オプション	Live ViewerのOSD時刻情報に基づいて、(Web Viewerを実行している) <PC Time> および (NET-i wareを実行している) <NVR Time> から1つ選択します。
3	チャンネルの選択	オートシーケンスモード、あるいは前または次のチャンネルに切り替わります。
4	オートシーケンスのステータス	表示されているチャンネルのシーケンスのステータスが表示されます。
5		必要に応じて画面の取込み、印刷または録画を実行します。
6	音声	音声の音量を調整します。
7	カメラ名	接続しているカメラの名前が表示されます。
8	PTZ	必要に応じてパンニング/チルト/ズームの操作を制御し、絞りまたはフォーカスを調節します。
9	映像画面	NET-i wareと接続しているチャンネルの画面が表示されます。 カメラの映像ビットレートがVBRIに設定されている場合、映像がスムーズに表示されない場合があります。 推奨ビットレートはCBRです。
10	イベント表示オフ	イベントの表示がオフに切り替わります。イベントが発生すると右上隅に表示されます。

NET-i Web Viewer



- 現在接続している NET-i ware の IP アドレスとモデル名が Live Viewer の右上隅に表示されます。
- Web Viewer の右上隅の <LIVE>、<SEARCH>、<SETUP> または <ABOUT> のいずれかを選択すると、対応するメニュー画面に移動します。

分割モードの変更

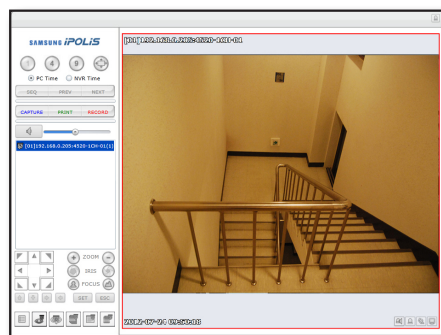
分割モードボタンをクリックすると、選択した分割モードに切り替わります。

シングルモードに切り替えるには

< ① > をクリックします。

選択したカメラの映像画面がシングルモードに切り替わります。

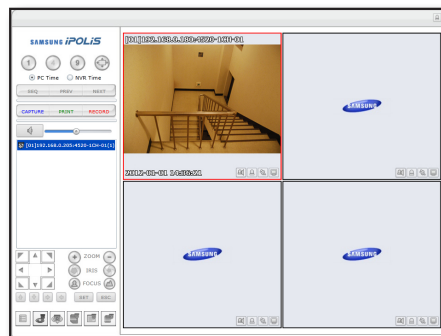
- 目的のカメラのタイルをダブルクリックして、シングルモードに切り替えることができます。



4 分割モードに切り替えるには

< ④ > をクリックします。

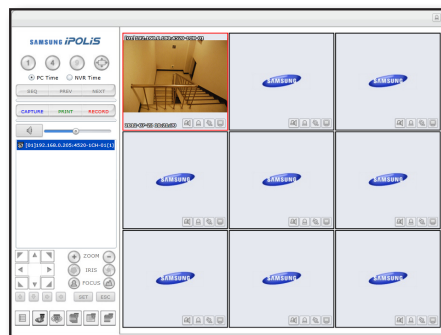
映像画面は 4 分割モードに切り替わり、選択したカメラのチャンネルが最初のタイルまで上に移動します。



9 分割モードに切り替えるには

< ⑨ > をクリックします。

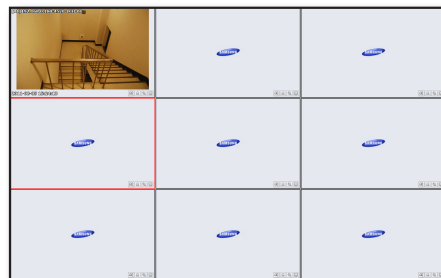
映像画面は 9 分割モードに切り替わり、選択したカメラのチャンネルが最初のタイルまで上に移動します。



全画面に切り替えるには

<  > をクリックします。

現在の分割モードが全画面に切り替わります。
全画面を終了するには、キーボードの [ESC] を押します。



ライブメニューの使用方法

オートシーケンスを実行するか、前または次のチャンネルに移動できます。

オートシーケンスを実行するには

<  > をクリックします。

これにより接続しているカメラの画面が順番に切り替わります。

- オートシーケンスを実行する分割画面のチャンネル番号よりも、カメラの台数が多い必要があります。
- シーケンス間隔を<SETUP> - <システム> - <シーケンス時間>で指定できます。(68ページ)



前 / 次のチャンネルに移動するには

<  > または <  > をクリックします。

現在の分割モードで接続しているデバイスの前または次のチャンネルに移動します。

画面の取込み

1. <  > をクリックします。

取り込んだ画像の保存パスを指定するウィンドウが表示されます。

2. パスを指定してファイル名を入力します。次に <Save(S)> をクリックします。
これにより、選択したカメラの映像が.bmpまたは.jpg形式で保存されます。



印刷

<  > をクリックします。

これにより、選択したカメラのビデオ映像が、Web Viewer を実行している PC に接続したプリンタを使用して印刷されます。

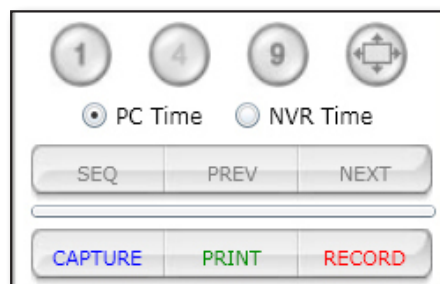
NET-i Web Viewer

録画

1. <  > をクリックします。
録画の保存パスを指定するウィンドウが表示されます。
2. パスを指定してファイル名を入力します。次に<Save(S)>をクリックします。
これにより、選択したカメラの映像が.avi形式で保存されます。
 - 最大録画時間は 10 分です。
録画した映像は、DivX コーデックを使用した場合にのみ再生可能です。
 - .avi ビデオクリップを再生する場合は、無償のビデオプレイヤーを使用してビデオを再生できます。
(例: GOM Player、KM Player など)
ただし、プレイヤーの CODEC の適合性によってビデオが正しく再生されない場合があります。
 - AVI ファイルは、H.264/MPEG4/MJPEG をサポートするコーデックを搭載したシステムで正常に再生されます。
Windows Media Player で AVI ファイルを再生するには、www.windows7codes.com からコーデックをダウンロードしてインストールする必要があります。



- Web Viewer が録画モードの場合、<SEQ>、<PREV> および <NEXT> などの分割画面選択ボタンやその他のボタンは無効になります。



音量を調整するには

カメラを選択し、音量バーを押しながら目的のポイントまでドラッグします。

音声をミュートするには <  > をクリックします。

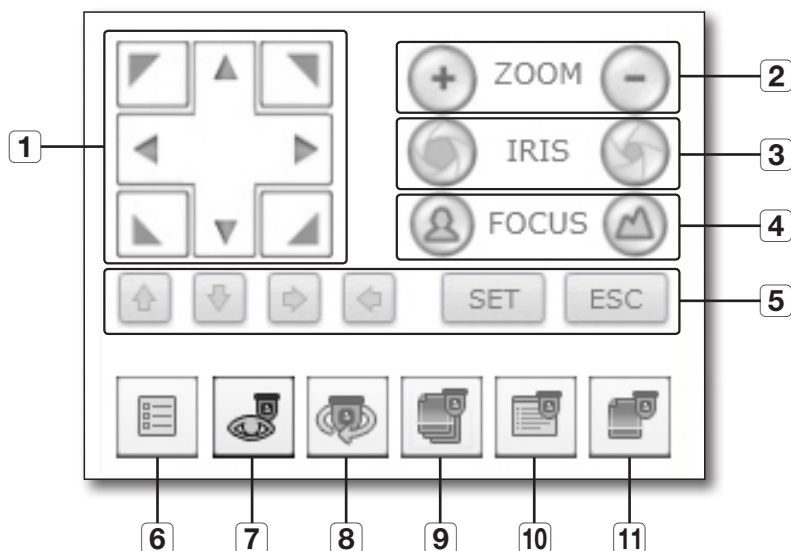
ミュートを解除するには <  > をクリックします。



PTZ コントロール

選択したカメラで PTZ 操作がサポートされている場合は、使用できるボタンが有効になり、有効なボタンを押して目的の動作を有効化することができます。

PTZ ボタンの使用方法



項目		説明
1	方向	カメラの向きを調整します。
2	ZOOM	カメラのズーム倍率を調整します。
3	IRIS	カメラの絞りを調整します。
4	FOCUS	カメラからの映像のフォーカスを調整します。
5	SET, ESC	メニュー画面で選択を変更し、選択を確認または取り消します。
6	メニュー	カメラのメニューが開きます。
7	プリセット	カメラのプリセット位置を指定しておいた場合は、目的のプリセットを選択してプリセット位置に移動することができます。
8	スウィング/自動パニング	指定した始点から終点までのカメラの行程を作成します。
9	グループ/スキャン	プリセット、パターンおよび自動パニングを組み合わせ、選択したルートをカメラがたどるようにします。
10	ツアー	複数のグループを組み合わせ、指定したルートをカメラがたどるようにします。
11	トレース/パターン	指定したルートをカメラがたどるようにします。

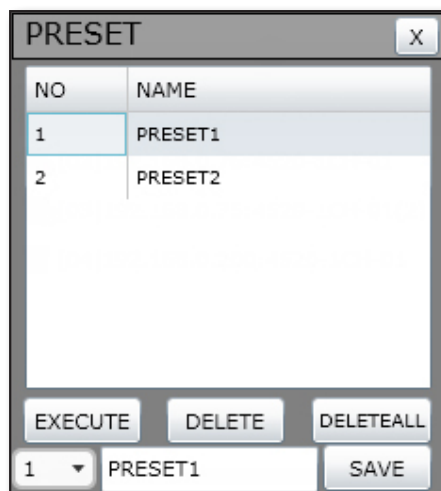
NET-i Web Viewer

プリセットを定義するには

1. <  > をクリックします。
2. < 1 > をクリックしてプリセット番号を選択します。
3. プリセット名を入力します。
4. 方向ボタンを使用してカメラの角度を目的の方向に調整します。
5. <  > をクリックします。



- このカメラは、プリセット番号とは関係なく、最大 20 のプリセットの追加および表示をサポートしています。ただし、SSNP シリーズのカメラと SPE-100/400/1600 はどちらも、最大 127 のプリセットの追加および表示をサポートしています。



プリセットを実行するには

1. プリセットのリストから、登録されたプリセットを選択します。
2. <  > をクリックします。
指定された位置にカメラのレンズが移動します。

スウィング / 自動パンニング、トレース / パターン、グループ / スキャン、ツアー

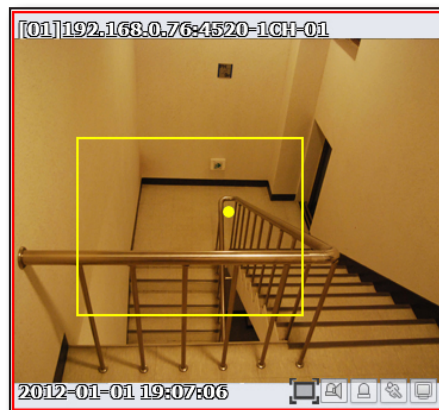
1. 目的のPTZ操作と対応するボタンをクリックします。
選択した操作が実行されます。
2. 操作を停止するには、ボタンを再度クリックします。
3. ルートまたは設定を変更するには、カメラの設定メニューで変更します。
 - NET-i Web Viewer の <SETUP>-<デバイスの設定ページ> からカメラの設定ページを開くこともできます。

AreaZoom を実行するには

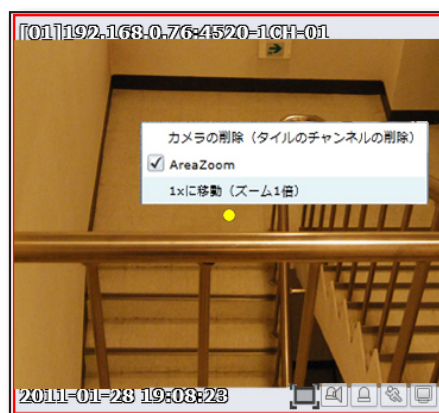
1. 目的のカメラタイルまでカーソルを移動して右クリックします。
2. 表示されるコンテキストメニューから<AreaZoom>を選択します。
画面に黄色い領域が表示されます。



3. 黄色い領域をドラッグして目的の位置でドロップします。
選択したボックスと同じ大きさの領域のみがズームされます。
 - そのボックスが中央の位置になるように、カメラによるパンニングまたはチルトが実行されます。
 - カメラによりサポートされる最大ズーム倍率までズームは実行されます。



4. 前のサイズを復元するには、画面を右クリックしてコンテキストメニューで<1xに移動 (ズーム1倍)>を選択します。



NET-i Web Viewer

映像画面の概要



項目		説明
1	カメラ名	NET-i wareで指定したカメラ名が表示されます。 iフレームのみがサポートされていないフレームレートに対して再生されます。この場合、カメラ名の最初に (i) がつきます。
2	録画	Web Viewerを実行しているPC上で行われた録画のステータスが表示されます。
3	インテリジェント映像分析	チャンネルでインテリジェント映像分析イベントが発生すると、ボタンの色が変わります。 インテリジェント映像分析の表示を終了するには、有効なボタンを再度クリックします。
4	モーション	チャンネルでモーション検知イベントが発生すると、ボタンの色が変わります。 モーションの表示を終了するには、有効なボタンをクリックします。
5	アラーム	チャンネルでアラームイベントが発生すると、ボタンの色が変わります。 作動したボタンをクリックして、イベントを確認し、取り消します。
6	音声	チャンネルで音声イベントが発生すると、ボタンの色が変わります。 作動したボタンをクリックして、イベントを確認し、取り消します。
7	時刻と日付	映像の時刻情報が表示されます。

コンテキストメニューを実行するには

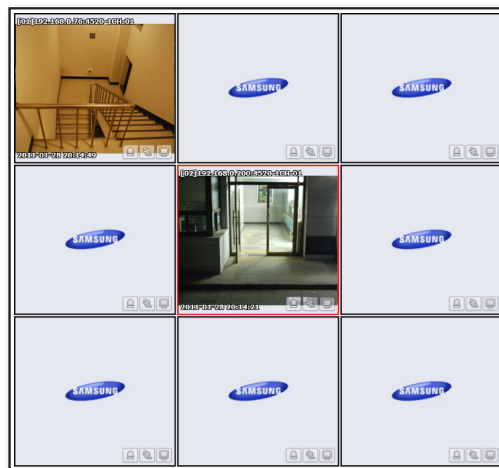
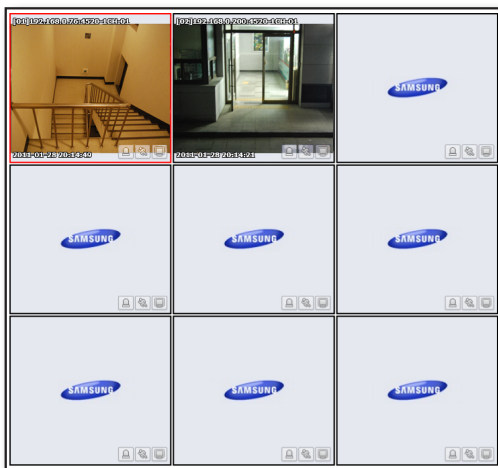
目的のカメラタイルまでカーソルを移動して右クリックします。
タイルの使用可能なコンテキストメニュー項目が表示されます。

- カメラの削除(タイルのチャンネルの削除) : 選択したタイルからカメラを削除します。
- AreaZoom : AreaZoomを実行します。
 - 詳細については、"**AreaZoomを実行するには**"を参照してください。(54ページ)
- 1xに移動(ズーム1倍) : AreaZoomを実行する前の画面に戻ります。



映像画面を移動するには

1. 映像を表示しているタイルから目的の画面を選択します。
2. 目的のタイル位置までドラッグアンドドロップします。
その他のタイルは1セル分上に移動します。
例 : 2番目のタイルを5番目に移動すると、3番目のタイルが2番目のセルまで上に移動します。

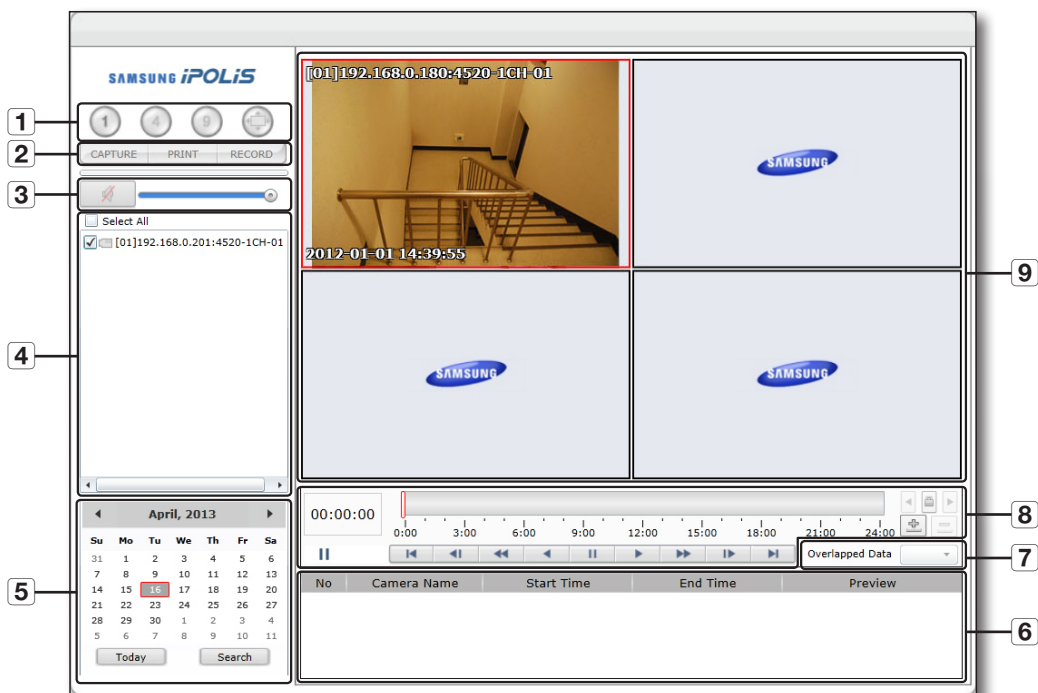


NET-i Web Viewer

SEARCH VIEWER

NET-i wareを実行しているPCで録画データを検索および再生できます。

Search Viewer の概要



項目	説明
1 分割モード	分割モードまたは全画面を選択します。 ■ 詳細については、"分割モードの変更"を参照してください。（50ページ）
2	必要に応じて画面の取込み、印刷または録画を実行します。 ■ 詳細については、"ライブメニューの使用法"を参照してください。（51ページ）
3 音声	検索する音声データがある場合は、音量を調整できます。
4 カメラリスト	接続しているカメラのリストが表示されるので、検索対象を選択できます。
5 カレンダー	検索する日付を指定するか、検索結果を表示します。

項目	説明
⑥ 結果ペイン	検索結果が表示されます。
⑦ Overlapped Data	同じタイムラインに重複する録画が存在するかどうかを示します。存在する場合は、ユーザーはいずれか1つを選択して再生できます。
⑧ タイムライン / 再生バー	録画データの再生、ビデオ画面の拡大/縮小、タイムラインバーの固定/解除が可能です。現在のビデオの再生速度を調整します。 ■ 詳細は、“再生”を参照してください。（60ページ）
⑨ 再生画面	検索結果を選択すると、映像画面内に表示されます。



- 現在接続している NET-i ware の IP アドレスとモデル名が Search Viewer の左上隅に表示されます。

検索

1. カメラ表示ペインから、検索するカメラのチェックボックスを選択します。
すべてのカメラを選択するには、<Select All> チェックボックスを選択します。

☐ Select All
☒ [01]192.168.0.76:4520-1CH-01
☐ [02]192.168.0.75:4520-1CH-01
☐ [03]192.168.0.200:4520-1CH-01

2. 検索する月をカレンダーで選択します。
<Today>をクリックして現在の月に移動します。
3. <Search>をクリックします。

January, 2012

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

Today Search

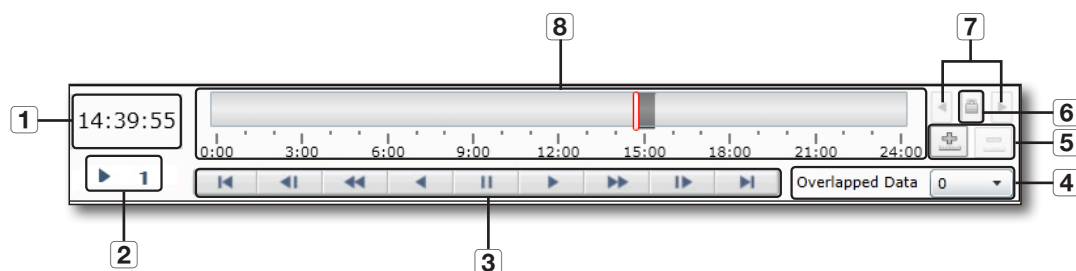
NET-i Web Viewer

再生

1. 検索結果を含む日付をクリックします。
詳細は結果ペイン内に表示されます。
 - プレビュー：検索結果を含むセクションの録画タイプが別
の色で表示されます。
 - 黄緑：連続
 - 青：モーション
 - オレンジ：アラーム
 - ピンク：ビデオ損失
 - 紫：インテリジェント映像分析
 - 黒：手動
 - スカイブルー：音声
2. 結果ペイン内で、目的のデータ項目をダブルクリックするか、タイル上までドラッグアンドドロップします。
選択した項目が表示されます。

No	Camera Name	Start Time	End Time	Preview

現在再生されているデータを調整するには



項目		説明
1	時間情報	現在再生されているデータの録画時間が表示されます。
2	再生ステータス	再生、一時停止または速度のステータスが表示されます。
3	再生バー	 タイムラインの録画の開始点まで移動します。
		 逆方向に1フレームずつ再生します。
		 2倍ずつ最大64倍の速度で逆方向に再生します。
		 逆方向に再生します。

項目			説明
③	再生バー		再生を一時的に停止します。
			通常で再生します。
			2倍ずつ最大64倍の速度で再生します。
			1フレームずつ再生します。
			タイムラインの録画の終点まで移動します。
④	Overlapped Data		同じタイムラインに重複する録画が存在するかどうかを示します。存在する場合は、ユーザーはいずれか1つを選択して再生できます。
⑤	タイムラインバーを拡大/縮小します。		時間表示バーが拡大または縮小します。
⑥	タイムラインの固定/解除		タイムラインバーを固定または解除します。 - タイムライン固定：現在の位置がタイムラインの範囲外の場合、次の範囲のタイムラインが表示されます。固定されている場合、前または次の範囲のタイムラインに移動することはできません。 - タイムライン解除：現在の位置がタイムラインの範囲外であっても、次のタイムラインが表示されないため、再生範囲が表示されている範囲と異なる場合があります。タイムラインが解除されている場合のみ、1時間単位で前または次の範囲のタイムラインに移動することができます。
⑦	移動		タイムラインを拡大すると、タイムラインを順方向/逆方向に移動することができます。
⑧	タイムライン		検索結果を含む特定の日付の録画セクション（0～24時間）が、録画理由に従って異なる色で表示されます。

NET-i Web Viewer

ビューアの設定

ハードウェア

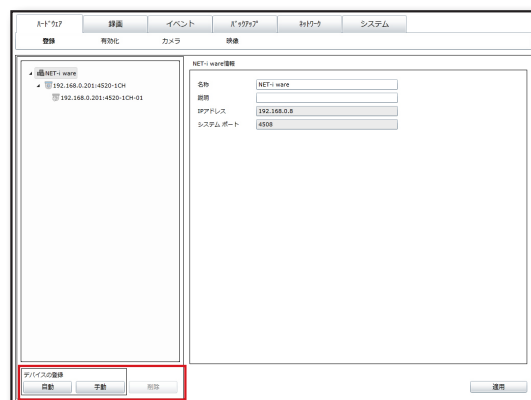
設定の詳細は、“ハードウェア”を参照してください。(12ページ)

❖ 登録

指定するデバイスを編集したり、NET-i ware に追加または NET-i ware から削除することができます。

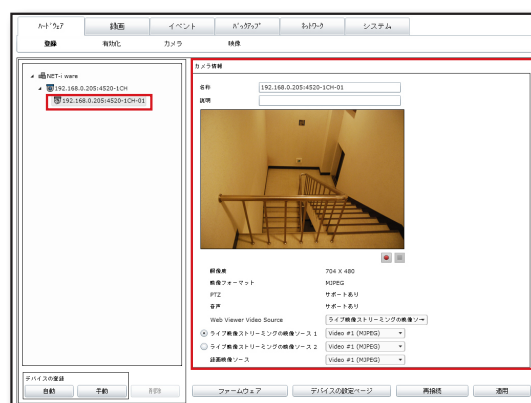


- このファームウェアをアップデートする機能は MAC OS では使用できません。



カメラ情報

Web Viewer のビデオソースを選択したら、Web Viewer のライブ画面で監視するプロファイルを選択できます。

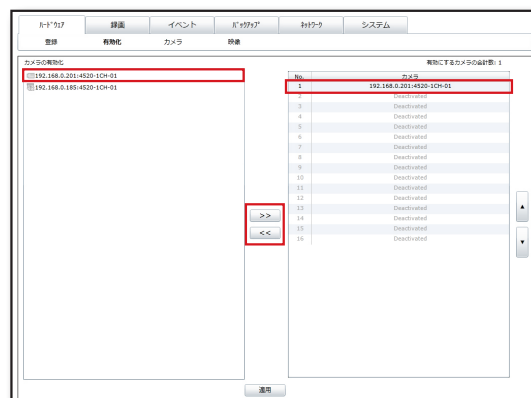


❖ 有効化

カメラを使用するには、カメラを登録後に有効化する必要があります。



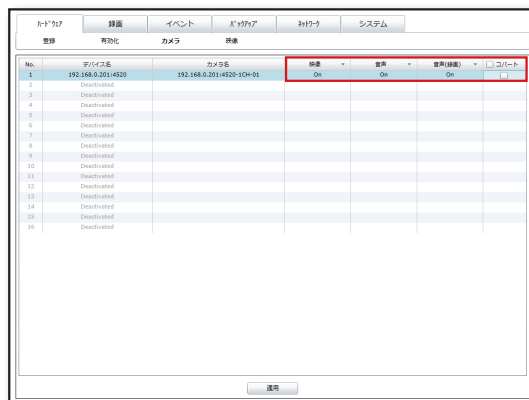
- Web Viewer では、カメラは索引別にソートされます。また、被写体の検索およびソートオプションも用意されています。



❖ カメラ

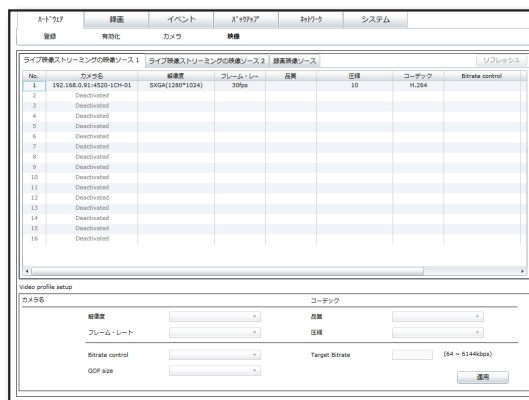
カメラの映像、音声、Audio Recording およびコバート機能のオン/オフが切り替わります。

<映像> ソースが <On> であるカメラのビデオのみをライブ監視画面で再生できるように設定できます。



❖ 映像

ライブ 1、2 を設定したり、有効なカメラの録画プロパティを設定できます。

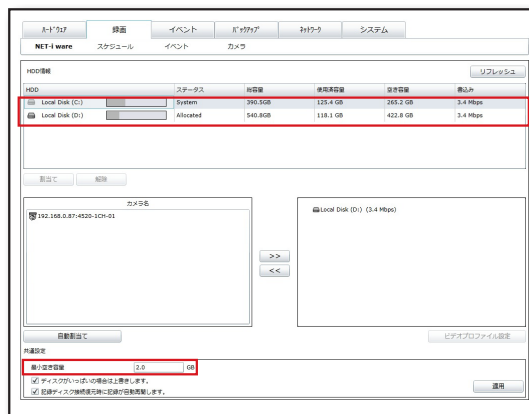


録画

詳細については、「録画設定」を参照してください。(20ページ)

❖ NET-i ware

現在のローカルディスクに関する情報が表示されます。ディスクごとに録画を行うカメラを割り当てることができます。一般設定でディスクの最小空き容量を指定します。



NET-i Web Viewer

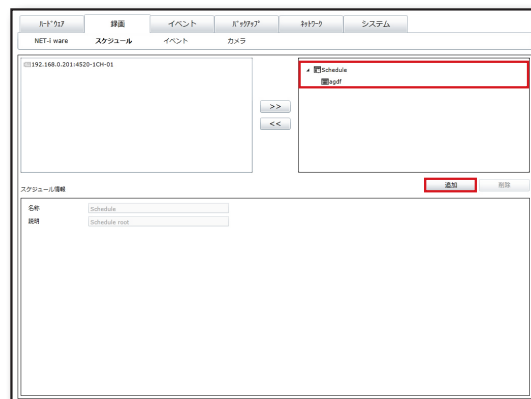
❖ スケジュール

NET-i ware にアクセスしてスケジュール録画を行うことができます。

その後、NET-i ware は、設定されたスケジュールに従って録画を開始または停止します。

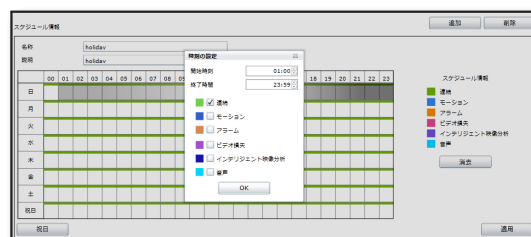
スケジュールを1つ作成すると、そのスケジュールを複数のカメラに適用できます。

複数のスケジュールを作成することもできます。



スケジュールを作成するには

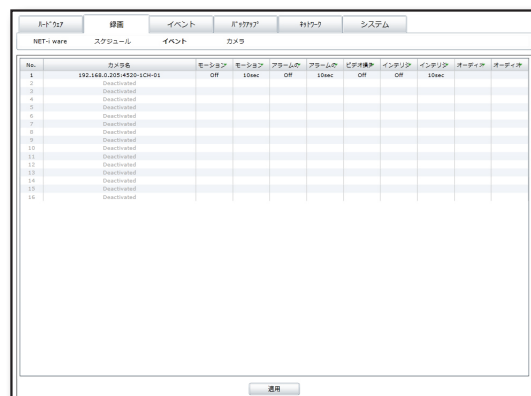
Web Viewer から時間表をクリックするかエリアを指定し、目的に応じてスケジュールを作成できます。



❖ イベント

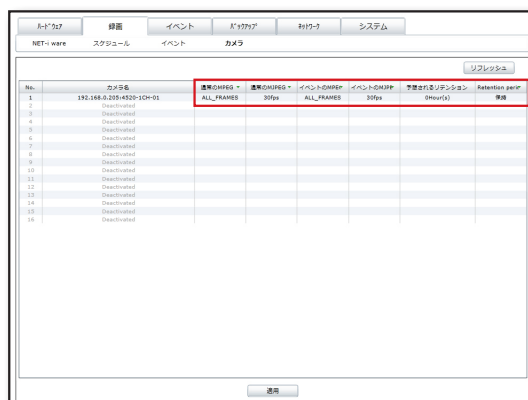
イベントの状況を理解しやすくするために、イベントの発生時刻を基準としたプレ録画時間とポスト録画時間を指定できます。

イベントの発生時刻を基準として、指定したプレ録画時間とポスト録画時間の録画が行われます。



❖ カメラ

有効なカメラまたは録画タイプ（標準 / イベント）ごとにフレームレート（fps）を指定できます。



イベント

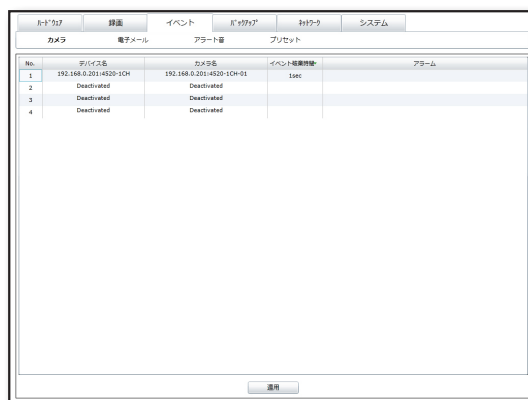
詳細については、「イベント設定」を参照してください。（27ページ）

❖ カメラ

有効なカメラごとに破棄時間を指定したり、同期させるアラーム入力を設定できます。

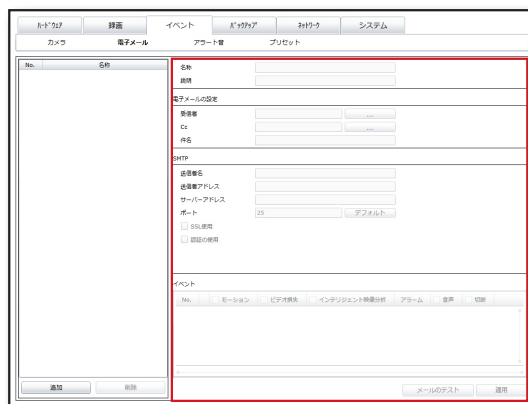
破棄時間とは、同じタイムライン上で発生する任意の重複イベントを破棄（無視）する時間です。

デバイスから発生するアラーム入力と同期する、各カメラのアラーム入力を設定することもできます。



❖ 電子メール

イベントが発生した場合に電子メール通知を送信するように設定できます。



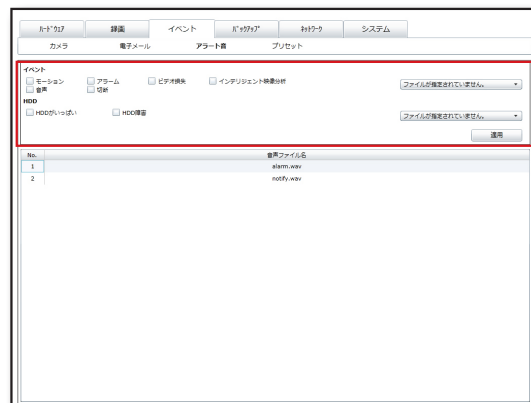
NET-i Web Viewer

❖ アラート音

イベントが発生するとビーブ音が鳴ります。



- Web Viewer では、ビーブ音として使用される .wav ファイルを保存または削除することはできません。
- Web Viewer では、(ビーブ音として使用される) .wav ファイルを事前に再生することはできません。

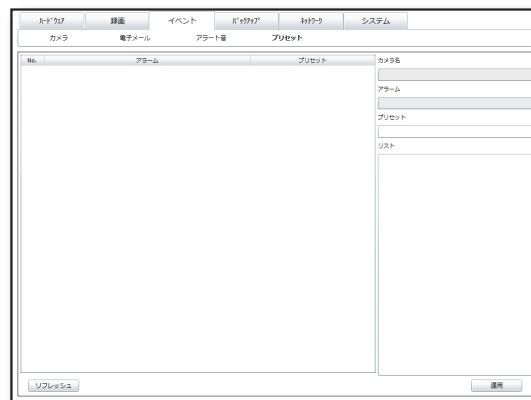


❖ プリセット

アラームが発生すると同時に、プリセットされたカメラに移動するように設定できます。



- リフレッシュを押し、現在のプリセットリストを更新します。

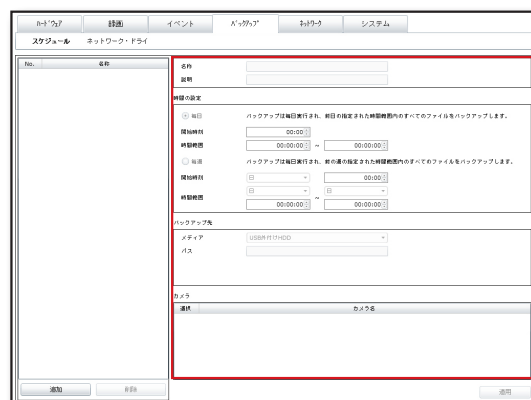


バックアップ

詳細については、「バックアップ設定」を参照してください。(30ページ)

❖ スケジュール

指定したスケジュールに従い、録画データのバックアップを取ることができます。



❖ ネットワーク・ドライブ

スケジュールしたバックアップ用としてネットワークドライブを使用する場合、(ネットワーク障害に対して)再試行時間を設定したり、バックアップファイルの自動削除の使用を指定できます。



ネットワーク

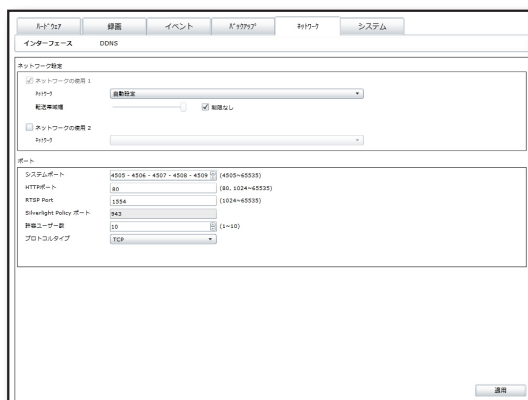
詳細については、「ネットワーク設定」を参照してください。(31ページ)

❖ インタフェース

インターフェース情報を確認し、必要な設定を行うことができます。

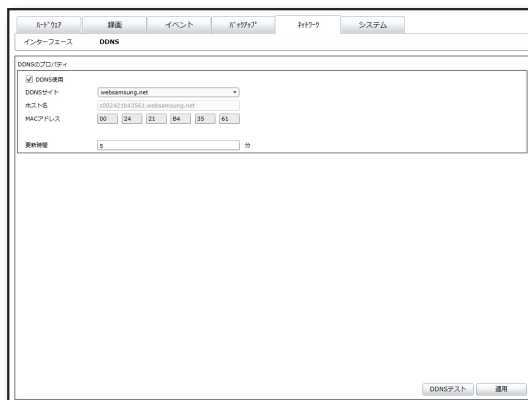


- Web Viewer は UDP (ユニキャスト/マルチキャスト) 設定をサポートしていません。



❖ DDNS

NET-i ware に DDNS を登録します。



NET-i Web Viewer

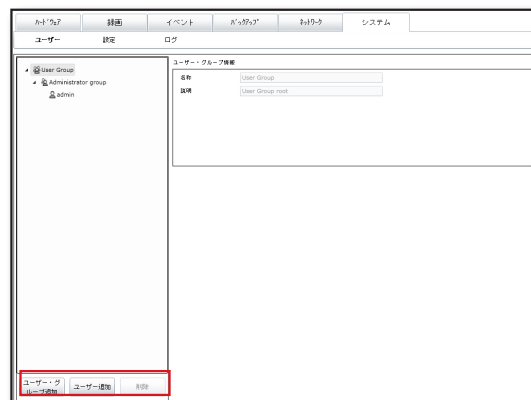
システム

詳細については、「システム設定」を参照してください。(33ページ)

❖ ユーザー

ユーザーまたはユーザーグループを追加し、必要に応じてアクセス権限を設定できます。

使用可能なアカウントには、管理権限を持つデフォルトユーザーグループとデフォルトユーザー（管理者）が含まれます。



❖ 設定

NET-i ware の設定をユーザーが行うことができます。

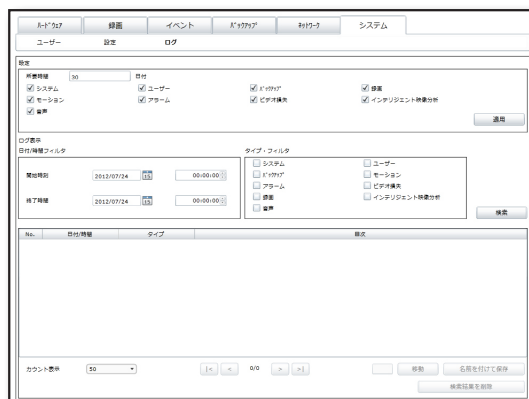


- Web Viewer で現在の言語を変更すると、新しい言語は Web Viewer の設定メニューにのみ適用されます。(NET-i ware Tool、Service Manager および Update Manager の OSD 言語は、NET-i ware Tool の言語に準拠します。)
- Web Viewer では、日付および時刻表示情報を設定することはできません。
- Web Viewer は、いずれの更新プロセスもサポートしていません。
- Web Viewer では、Windows ログオンアカウントを作成/編集することはできません。
- Web Viewer では、シーケンス時間を 10 秒から 60 秒の間で設定できます。



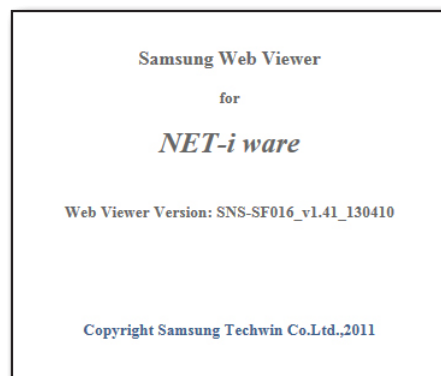
❖ ログ

ログ保存設定を行ったり、既存のログを検索できます。



バージョン情報

Web viewerのプログラムバージョンおよび登録日が表示されます。



OPEN SOURCE ANNOUNCEMENT

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

- Windows固有のコードを使用する

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)



販売ネットワーク

SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.

Samsungtechwin R&D Center, 701, Sampyeong-dong, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Korea, 463-400
TEL : +82-70-7147-8740~60 FAX : +82-31-8018-3745

SAMSUNG TECHWIN AMERICA Inc.

100 Challenger Rd. Suite 700 Ridgefield Park, NJ 07660
Toll Free : +1-877-213-1222 Direct : +1-201-325-6920
Fax : +1-201-373-0124
www.samsungcctvusa.com

SAMSUNG TECHWIN EUROPE LTD.

Samsung House, 1000 Hillswood Drive, Hillswood Business Park
Chertsey, Surrey, UNITED KINGDOM KT16 0PS
TEL : +44-1932-45-5300 FAX : +44-1932-45-5325

www.samsungtechwin.com
www.samsungsecurity.com
www.samsungipolis.com